



# こうのとり通信

No. 112

発行日：2022年10月10日 編集：広報委員会 <http://www.hacsw.or.jp/>

## 会長就任挨拶

会長 岡本 和久

この度、2022年度の役員改選に伴い、会長に就任することになりました。  
伊東副会長、榎本副会長をはじめ、17名の理事・2名の監事とともに、本会の発展に  
尽くしてまいります。  
どうぞよろしく願いいたします。

本会は1993年7月に創設、2023年7月に30周年を迎えます。  
私は設立当初より理事を務め、研修・行事の運営や、委員会・ブロック活動に参加し  
てまいりました。  
会員数55名から出発した本会は、29年間で1,750名を超える組織に拡大しました。  
地道な活動をすることにより、「社会福祉士会」の認知度が向上し、兵庫県や神戸市等  
から、「防災と福祉の連携による個別避難計画作成促進事業」、「ヤングケアラー・若者ケ  
アラー相談窓口」など、ソーシャルワークの専門性を生かした20を超える事業を受託す  
る団体へと発展してきました。

コロナ禍のなか、本会に尽力された谷口前会長からバトンを引き継ぎ、2021年度に策  
定した「第2期中期計画（5か年計画）」のもと、会員2,000名規模を目指し、30周年記念  
事業、災害支援、事務局体制の強化などに取り組み、日本社会福祉士会や近畿ブロッ  
ク内社会福祉士会、専門職能団体等と連携し、一層の専門性の向上を目指します。

また、我が国では、8050問題・ダブルケア・ヤングケアラーなど今日の多様化・複雑  
化した福祉ニーズに対応するため、既存の高齢、障害、児童等の制度ごとの縦割りを超  
えて包括的にかかわる「新たな相談支援の仕組み（重層的支援体制整備事業）」が、これ  
から本格的に全国展開されます。

この事業を実施するに当たっては「社会福祉士や精神保健福祉士が活用されるよう努め  
ること」と参議院において附帯決議され、我々社会福祉士にますます期待がかかっています。

そして、この事業において大事なことは支援体制へのフォローです。これまでは制度  
上の狭間にある手の届かなかった方たちへの支援も必要になります。

このため、支援者が、まず人権の尊重や専門職の倫理綱領に沿った、ソーシャルワ  
ークの価値を根幹とした支援ができるように、本会では基礎研修や倫理研修等を開催した  
り、支援者同士の交流の場を設けたりするなど、支援者へフォローアップをしていく必  
要があると考えております。

このように、地域共生社会の実現に寄与できるソーシャルワーカーの資質向上やSDGs  
に基づく地域貢献を目標に、県民の期待に応え、信頼される組織づくりを目指してこれ  
から様々な活動を展開していきます。

本会の活動へのご理解を賜り、積極的なご参加をお願い致します。

一緒に本会の未来をつくっていきましょう。

# 目次

- 会長就任挨拶..... 1

## 【お知らせ】

- 新型コロナウイルス感染症拡大状況を踏まえた2022年度の活動方針について(7) ..... 3
- 2022-2023年度新理事・監事のご紹介 ..... 5～7

## 【報告】

- 問題解決型ケース会議研修 第1回目 ..... 8
- 問題解決型ケース会議研修 第2回目 ..... 9
- こうのとりのゼミ..... 9
- 令和4年度地域リーダー対象個別避難計画作成研修..... 10
- 地域包括支援センター初任者研修..... 10
- 手続上の難しさを柔らかく頭で考える..... 11
- 社会福祉士の働きっぷり..... 11
- 2022年度独立型社会福祉士実践報告会 ..... 12
- 令和4年度医療的ケア児等支援者養成研修..... 13
- 福祉専門職による減災～ BCPと災害・企業（事業体）の社会的責任 ..... 14
- 2022年度社会福祉士受験対策講座 ..... 14
- つどい場オンライン..... 15
- 公用車愛称決定..... 15

## 【ブロックインフォメーション】

- 神戸ブロック..... 16
- 阪神ブロック..... 17
- 西はりまブロック..... 18
- 丹波ブロック..... 18

## 【委員会だより】

- ◆ 研修委員会..... 19
- ◆ 調査研究委員会..... 19
- ◆ ソーシャルワーク研究委員会..... 20
- ◆ 地域移行支援委員会..... 21
- ◆ 災害支援委員会..... 21

## 【お知らせ】

- メーリングリストのお知らせ..... 22
- 委員会責任者名..... 23
- Team-G 57号 ..... 25
- 実習指導者アップデート講座開講のご案内..... 27

## 【研修案内等】

- ◆ 2022.10.14～ 【Zoom】社会福祉士国家試験対策 自主ゼミ ..... 29
- ◆ 2022.10.20～ 【Zoom】東播ブロック 集い場..... 30
- ◆ 2022.10.22 【Zoom】神戸ブロック ミニ勉強会&交流会 ..... 31
- ◆ 2022.11.6 【Zoom・会場】西はりまブロック研修会 ..... 32
- ◆ 2022.11.11～ 【Zoom】こうのとりのゼミ（後期） ..... 33
- ◆ 2022.11.11～ 【Zoom】マインドフルネス基礎講座 ..... 34
- ◆ 2022.11.23 【Zoom】ヤングケアラー当事者の立場から支援を考える ..... 35
- ◆ 2022.11.24 【Zoom・会場】関本剛先生が残されたもの、伝えたかったこと ..... 36
- ◆ 2022.12.4 【会場】実践研究発表会・実践報告会 ..... 37
- ◆ 2022.12.17 【Zoom】忘年会 ..... 38
- ◆ 2022.12.24～ 【会場】災害支援活動者養成研修 ..... 39
- ◆ 2023.2.4 【Zoom・会場】災害時支援と地域共生社会における  
ソーシャルワーカーの役割と期待..... 40
- ◆ e-ラーニング講座を活用ください ..... 41
- ◆ 委員会見学申込書 ..... 42
- ◆ 会員情報変更届 ..... 43
- ◆ 事務局情報 ..... 44

※ 各研修につきましては、申込人数が少ない場合、中止することがありますので、予めご了承くださいませようお願い致します。

## ■ 自然災害による中止及びその告知について

研修開始の2時間前に研修開催場所に特別警報が発令された場合は、研修会を中止いたします。また、特別警報の発令に関わらず、台風接近や自然災害の状況をみて、研修会をやむを得ず中止する場合がありますのでご了承ください。

基準等は、本会ホームページをご参照ください。 <http://www.hacsw.or.jp/>

研修開催の中止が決定した場合は、研修開始2時間前に本会ホームページ、または本会ホームページ下部にあるFacebookに掲載します。掲載がなければ開催するものとご理解ください。

**個別連絡は致しませんので、予めご了承くださいませようお願いいたします。**

## 新型コロナウイルス感染症拡大状況を踏まえた2022年度の活動方針について（7）

兵庫県社会福祉士会（以下、「本会」という）は、2021年4月27日に「新型コロナウイルス感染防止策を踏まえた今後の活動方針（4月27日）」について（6）」を発出し、活動方針を示した。その後、感染拡大「第6波」は落ち着きを見せてはいたが、2022年7月以降、兵庫県においても「第7波」とみられる感染者数が増加してきている。

現時点では兵庫県において緊急事態宣言やまん延防止等重点措置は適用されていないが、2022年7月21日に関西広域連合より「夏の感染予防徹底宣言」が発出されたところである。これらの状況を踏まえ、本会においても会員及び県民に対する感染防止に協力する必要があることから、本会の各活動について感染拡大「第7波」が一定収束するまでの間、以下のように対応することとする。

### ◎基本的な考え方

本会は毎年多くの研修等を社会福祉士等へ提供している。このような状況下においても、専門職としての必要な「学び」を止めないことを基本とする。

本会が開催する研修・会議・イベントについては、感染防止を優先し、積極的にオンラインを活用すること。ただし、研修効果を得るために、集合研修や集合形式による会合等を行う場合は、適切な感染予防策を講じた上で、開催を可能とする。なお、本会が主催する会食等は当面の間行わないこと。

兵庫県において緊急事態宣言やまん延防止等重点措置が適用された場合は、その措置が解除されるまでの期間は、本会及び地区ブロックが主催する集合型での各研修、イベント等については、延期または中止することを基本とし、実施する場合はオンラインでのみ開催を可能とする。なお、予算管理については留意して実施すること。

私たち社会福祉士がこの状況の中、求められる行動の指針として、日本社会福祉士会「新型コロナウイルス感染症に対する社会的弱者への支援について」が示されている。

これに基づいて実践することが求められるので参照されたい。

[https://www.jacsw.or.jp/05\\_seisakuteigen/files/020/0200401.pdf](https://www.jacsw.or.jp/05_seisakuteigen/files/020/0200401.pdf)

### ◎福祉専門職たる社会福祉士の会員へのお願い

○感染拡大状況を踏まえ、各自が適切な行動を心がけること。

○業務の都合によりやむを得ず出張する場合、出張先での会食等は人数の多少に関わらず慎むこと。

集合研修や集合形式による会合等を行う際の通知等は下記のとおりとする。

当日、下記の状態に一つでも当てはまる場合は、受講をご遠慮ください。

会場でも検温を実施し、受講をお断りする場合がございます。予め、ご了承ください。

- ・37.5度以上の発熱（平熱比+1度超過）した場合
- ・息苦しさ（呼吸困難）、強いだるさがある場合
- ・軽度であっても、咳、咽頭痛などの症状がある場合
- ・同居家族や身近な知人等に感染が疑われる人がいる場合
- ・過去2週間以内に、政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航または、当該在住者との濃厚接触がある場合

#### 【受講にあたって】

- \*受付時に、検温（非接触式）、健康チェック及び健康チェックシートの記入、手指消毒を行いますので、感染防止対策にご協力ください。また当日は、マスク着用、咳エチケットの徹底についてもあわせてご協力をお願い致します。

- \* 会場内を定期的に換気します。会場内の音や室温に影響を及ぼす場合もありますが、ご了承ください。
- \* 参加者等が感染した場合、または濃厚接触者であった場合など、参加者名等の個人情報を、必要に応じて保健所等の行政機関に提供する場合があります。予め、ご了承ください。

#### **【休憩中】**

- \* 昼食を会場内で食べて頂くことはできますが、その際、対面での飲食や会話は避けて頂きますよう、ご協力お願いいたします。
- \* 会話をする場合は、マスクの着用をお願いいたします。
- \* ゴミは各自、お持ち帰りください。

#### **【研修後】**

- \* 受講後2週間以内に、新型コロナウイルス感染症を発症した場合、濃厚接触者（研修前の接触）であることが判明した場合には、兵庫県社会福祉士会事務局（TEL:078-265-1330）まで、速やかにご連絡ください。

(具体的な措置)

1) 下記の研修等については、集合せずZoomを用いたオンラインのみで実施する。

基礎研修Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ

2) 理事会および理事委員長会議について

感染拡大「第7波」が一定収束するまでの間、オンライン会議にて開催する。

3) 各委員会、地区ブロック等の会議について

各委員会、地区ブロック等の会議については、オンライン会議を推奨するが、適切な感染防止策を講じた上で集合形式にて開催することができる。

ただし、兵庫県において緊急事態宣言やまん延防止等重点措置が適用された場合は、その措置が解除されるまでの期間は、オンラインでのみ開催を可能とする。

4) 受託事業について

各種の受託事業については、遅滞が生じないように、受託事業を適正に遂行する。

ただし、研修等はオンライン研修を推奨するが、委託元と十分に協議の上、適切な感染対策を講じた上で、集合研修を行うことができる。

5) 事務局勤務体制について

本会の業務に支障が生じない範囲で、職員（非常勤職員を含む）が、時差出勤や在宅勤務に従事することは妨げない。在宅勤務については、事務局長は状況に応じて通常業務に支障が生じることのないよう、適切に業務内容を指示したうえ、執行状況を把握すること。

また、在宅勤務に従事している職員は、定時報告を事務局にすること。職員が通常の就業場所で勤務する時間は、原則として20時までに制限する。

6) 情報提供について

県民や会員等から福祉現場の状況や相談について、総合相談センター「ここねっと兵庫」及び本会ホームページ、メーリングリスト等から情報提供を募り、必要な支援や広報について理事会において検討を行う。

7) 今後の対応について

その他、感染状況等を把握し、本活動方針を適宜見直すとともに、必要な対応については、すみやかに理事会で協議・決定する。

# 2022-2023年度

# 新理事・監事のご紹介

第26回総会にて、本会の新しい理事・監事が決まりましたのでご紹介します。

## 【任期】

2022年6月25日～2023年決算総会まで

## 【プロフィールの見方】

- ①氏名 ②期 ③担当 ④所属ブロック ⑤勤務先 ⑥好きな食べ物 ⑦好きな音楽  
⑧座右の銘 ⑨今、ハマっていること ⑩一言PR



### 会長

- ① 岡本 和久 (おかもと かずひさ)  
② 1期  
③ 生涯研修センター長、福祉相談センター長を兼務  
④ 阪神ブロック  
⑤ 神戸市 (福祉局障害福祉課)  
⑥ ラーメン等 (めん類全般)、カレー等 (激辛)、果物 (桃等)  
⑦ サザン、コブクロ、ゆず、ミスチル、福山雅治、さだまさし等  
⑧ 一期一麺 (いまこの一杯の麺との出会いに感謝すること)  
⑨ マインドフルネス、パワースポット、温泉、食べ歩き  
⑩ 「趣味は?」と聞かれると「社会福祉士会」と答えています。私は本会の創設時(29年前)から理事をさせていただき、本会の活動を通じて大切な方々とのつながりが生まれ、先輩方から多くのことを学びました。会員の皆様に入会してよかったと思っただけのように、また、これからも本会がより一層発展していくことを目標に、会長として日々尽力してまいります。



### 副会長

- ① 伊東 圭一 (いとう けいいち)  
② 4期  
③ 組織規定、ソーシャルワーカーデー  
④ 西はりまブロック  
⑤ 社会福祉法人 徳宗福祉会 香照苑  
⑥ 松葉ガニ、タラバガニ、伊勢エビ、アワビ、ウニ、いくら  
⑦ フォークロック ブルースロック 古いアニソン  
⑧ 考えたことが無い 強いて言えば copy and paste  
⑨ バイクいじりと工具 (スナップオンとKTCは持ってない)  
⑩ 社会福祉士として、職場においても、社会福祉士会においても、社会福祉士の地位向上を念頭に、日々精進してまいります。



### 副会長

- ① 榎本 昌起 (えのもと まさき)  
② 2期  
③ 苦情解決委員会・ソーシャルワーク関係5団体  
④ 神戸ブロック  
⑤ えのもとソーシャルワーク事務所  
⑥ コーヒー  
⑦ 特になし  
⑧ 特になし  
⑨ キャンプ  
⑩ 社会福祉士の専門性って素敵だと思います。皆さまと一緒に追求していければと思います。



### 理事

- ① 薄木 公平 (うすき こうへい)  
② 4期  
③ 会計・業務委託・組織力向上  
④ 神戸ブロック  
⑤ 大口・うすき行政書士事務所  
⑥ 肉・魚・米  
⑦ J-POP・Jazz  
⑧ 実るほど頭を垂れる稲穂かな  
⑨ 仕事・馬の世話  
⑩ 「非営利団体の理事は、地位ではない、責任である」ピーター・F.ドラッカー  
私は、本会理事になってから、このことを忘れたことはありません。



理事

- ① 近藤 健太 (こんどう けんた)
- ② 2期
- ③ 生涯研修・委託事業
- ④ 阪神ブロック
- ⑤ 神戸市役所
- ⑥ ご当地の純米酒
- ⑦ 「It's My Life」
- ⑧ 育つほど土に手をつく柳かな

- ⑨ マインドフルネス
- ⑩ 社会福祉士がより一層、社会から必要とされる時代になっています。「取りたい資格、やりたい仕事」として社会福祉士が発展していけるよう兵庫県社会福祉士会から発信して参ります。どうぞ宜しくお願い申し上げます。



理事

- ① 西垣 和仁 (にしがき かずひと)
- ② 2期
- ③ 組織規定・苦情解決委員会
- ④ 東播ブロック
- ⑤ 明西社会保険労務士事務所
- ⑥ 食べ物全般 (嫌いなもの特になし)
- ⑦ 最近ほとんど聞かないです
- ⑧ 愚者は失敗に学び、賢者は歴史から学ぶ
- ⑨ 自転車でポタリング

- ⑩ 社会福祉士がかかわる分野は多岐にわたるため、幅広い知識の習得とできる限り迅速に動けるよう努力していきたいです。



理事

- ① 段 真奈美 (だん まなみ)
- ② 1期
- ③ 苦情解決委員会・委託事業・組織力向上
- ④ 阪神ブロック
- ⑤ 芦屋セントマリア病院 地域医療連携室
- ⑥ 海鮮・果物
- ⑦ 優里・ゆず・ファンモン・浜田省吾
- ⑧ 「小さなことほど丁寧に 当たり前のことほど真剣に」

- ⑨ 旅行のプランニング (いつか実現したいと思いながらかなり詳細に計画立てます。特に美味しいお店については徹底的に情報収集します)
- ⑩ ONとOFFをしっかりと切り替えて“やるときはやる”のがモットーです。やらないときは、ピクリとも動きませんが・・・(笑)



理事

- ① 米田 直人 (よねだ なおと)
- ② 1期
- ③ 組織規定・委託事業
- ④ 阪神ブロック
- ⑤ 一般財団法人宝塚市保健福祉サービス公社
- ⑥ かに、お酒全般
- ⑦ 邦楽 (尺八)、1990年代ポップス
- ⑧ 艱難汝 (かんなんなんじ) を玉にす

- ⑨ コンクールに向けて尺八練習中
- ⑩ 初めて理事に就任させていただきました。これまで成年後見活動や高齢者、障害者分野で培った知識、経験を微力ながら兵庫県社会福祉士の発展のために活かしたいと思います。



理事

- ① 寺田 順一 (てらだ じゅんいち)
- ② 1期
- ③ 会計・組織規定
- ④ 西はりまブロック
- ⑤ 社会福祉法人 揖南福祉会 サルビアの家
- ⑥ 麺類・エビスビール
- ⑦ 桑田佳祐さんの歌
- ⑧ 一期一会

- ⑨ 愛犬との散歩
- ⑩ まじめしかありませんが、一生懸命頑張ります。



理事

- ① 福井 良江 (ふくい よしえ)
- ② 1期
- ③ 生涯研修センター、委託事業
- ④ 西はりまブロック
- ⑤ 神戸市教育委員会
- ⑥ しいたけ、夏野菜 (ズッキーニ、なす、トマト) と BBQ のビール
- ⑦ あいみょん、backnumber
- ⑧ 一期一会、人間万事塞翁が馬

- ⑨ 足つぼマッサージ、涙活
- ⑩ この度、初めて理事に就任いたしました福井と申します。児童・家庭分野の認定社会福祉士をめざしています。兵庫県社会福祉士会が、社会福祉士として日々がんばっておられる皆様にとってより良い交流や研鑽の場となりますよう努力してまいります。よろしく願いいたします。



理事

- ① 溝田 弘美 (みぞた ひろみ)
- ② 3期
- ③ 委託事業・ブロック活動活性化・災害支援
- ④ 神戸ブロック
- ⑤ 社会福祉法人 弘陵福祉会・特別養護老人ホーム 六甲の館
- ⑥ 飲茶・紅茶
- ⑦ なんでも
- ⑧ 「何が起きてても自分のせい」

- ⑨ メタバース、ノーリフト・ケア
- ⑩ 社会福祉士になって25年です。職場では、介護テクノロジーを活用したノーリフト・ケア (自立支援介護と職員の腰痛予防) に取り組んでいます。



理事

- ① 中原 克子 (なかはら かつこ)
- ② 4期
- ③ ブロック活動活性化、災害支援
- ④ 阪神ブロック
- ⑤ 医療法人社団向陽会 向陽病院
- ⑥ カレー コーヒー
- ⑦ 陸上自衛隊中部方面音楽隊の生演奏
- ⑧ 笑う門には福来る

- ⑨ 料理
- ⑩ ニホンイシガメ飼っています。会のお役に立てるよう、頑張ります。



理事

- ① 岩西 太一 (いわにし たいち)
- ② 1期
- ③ 生涯研修、ブロック活動活性化
- ④ 東播ブロック
- ⑤ 社会福祉法人三幸福社会 特別養護老人ホーム清華苑
- ⑥ 牛肉、黒ラベル
- ⑦ 沖縄民謡

- ⑧ 世の中には幸福も不幸もない。  
ただ考え方でどうにでもなるのだ。
- ⑨ アジング、エギング、ゴルフ
- ⑩ 初めてのことで分からないことばかりですが、一生懸命に頑張ります。



理事

- ① 岸 剛健 (きし たけとし)
- ② 2期
- ③ 苦情解決委員会・ブロック活動活性化・組織力向上
- ④ 西はりまブロック
- ⑤ きしソーシャルワーカー事務所
- ⑥ 日本酒、ビール、ウイスキー
- ⑦ パンクロック
- ⑧ 脳ドックに行きましょう。

- ⑨ 筋トレ
- ⑩ 理事の皆様をはじめ事務局員の皆様、会員の皆様とともに、より良い社会福祉士会を目指して微力ながら精励して参りますので、今後とも、一層のご支援とご協力をお願い申し上げます。世界平和のために一緒に頑張りましょう。



理事

- ① 下中 智晃 (しもなか ともあき)
- ② 1期
- ③ 委託事業・ソーシャルワーカーデー・ブロック活動活性化
- ④ 但馬ブロック
- ⑤ 豊岡市役所
- ⑥ 今は「藤原鮮魚店 uRashiMa」のピザ
- ⑦ Bob Dylan

- ⑧ やるべきことをやるだけさ だからうまくいくんだよ
- ⑨ 子どもと過ごす時間
- ⑩ 兵庫のなかで圧倒的なマイノリティな地域であり、高齢化など全国でも先進的な課題を抱えているからこそ、やるべきことに地道に取り組んでいきます。



理事

- ① 内藤 篤志 (ないとう あつし)
- ② 1期
- ③ 社会福祉セミナー、ブロック活動活性化、組織力向上戦略会議
- ④ 丹波ブロック
- ⑤ 丹波篠山市障害者総合支援センター
- ⑥ 山の頂上で食べるカップラーメン、ジンジャーエール

- ⑦ ドラゴンクエストのテーマソング
- ⑧ 努力する人は希望を語り、怠ける人は不満を語る。
- ⑨ 将棋、サッカー観戦、登山
- ⑩ 初めてのことでばかりですが、皆様と一緒に社会福祉士会の活動に貢献できたらと思います。よろしく願います。



理事

- ① 古家 英敬 (こうけ ひでたか)
- ② 1期
- ③ ソーシャルワーカーデー・ブロック活動活性化
- ④ 淡路ブロック
- ⑤ 兵庫県立西宮病院
- ⑥ 讃岐うどん (香川出身なので) カレーライス
- ⑦ Mr.Children ゆず RADWIMPS Novelbright
- ⑧ 日々是好日

- ⑨ YouTube で音楽やバラエティーの動画を見ること
- ⑩ 社会福祉士が「身近な存在」で居られるように、僕らと出逢ったことで「その人らしく生きる」が輝けるように、みなさんと共に歩み、顔晴(がんばん)りたいと思います。



監事

- ① 土谷 長子 (つちや ひさこ)
- ② 2期
- ③ 監事・苦情解決委員会
- ④ 阪神ブロック
- ⑤ 皇學館大学 教育学部
- ⑥ 魚介類
- ⑦ 童謡
- ⑧ あるがまま

- ⑨ 神社仏閣めぐり (御朱印集め)
- ⑩ できることを精一杯やらせていただきます。



監事

- ① 塩尻 点 (しおじり ともる)
- ② 2期
- ③ 監事
- ④ 西はりまブロック
- ⑤ 社会福祉法人くすのき会 播磨園
- ⑥ お酒
- ⑦ ブルーグラスミュージック
- ⑧ BEST OF LUCK

- ⑨ 農業 バンドごっこ
- ⑩ ソーシャルワーカーとは、運転をしたことがない人の助手席に、一緒にぶつかる覚悟で座り、右、左を指示せず本人の意向を響かせることができる人。(ある講師のお言葉)

報告者：こども家庭支援委員会 原田 定道

開催日 2022年5月29日 参加人数 26名  
会場 兵庫県福祉センター102, 103会議室  
講師 関西学院大学人間福祉学部 馬場 幸子 教授

### 【研修・イベント概要】

昨年度のSSW研修に引き続き、その研修内容を深めた「問題解決型ケース会議研修」の今年度の第1回目を開催しました。講師は関西学院大学人間福祉学部教授の馬場先生です。

これは、学校内でSSWが行うケース会議を想定した研修ですが、その手法は広く介護福祉・教育・産業等に適用できるものです。

ひと通り、問題解決型ケース会議の概要を講義された後、受講生の中から挙手制で学校内関係者（校長、担任、養護教諭など）が選ばれ、SSW（馬場先生）がファシリテーターとしてケース会議を60分間、デモンストレーションされました。協議事項は1.支援対象児童の問題行動、2.長所、3.支援目標、4.問題の背景要因、5.支援方法、6.達成課題と評価基準の順に進みましたが、出席者がブレインストーミング方式で意見をどんどん出し合い、それをSSWが言い換えや焦点化・具体化していくという流れでした。

その後、グループに分かれてファシリテーターのデモンストレーションについて気付いた点、良かったと思った点などについて意見を出し合い、最後に全体で共有しました。

### 【所感等】

馬場先生のファシリテーションによって、ケース会議にメリハリと深みが添えられたように感じられました。対象児童の問題にのみ着目するのではなく、児童の長所を最大限に生かした実現可能な目標設定と支援方法・役割分担を明確化するためにうまくファシリテーションされ、素晴らしいケース会議だと感じられました。

効果的なケース会議を行うためには、問題の明確化、長所の確認、目標の設定が最も重要であること。これらに時間をかけて話し合い、全員の合意を得た後に次のステップに進むことが求められること。そういった支援計画は具体的に役割分担を決めた上で立案し、支援を実施した後に結果を振り返ることも忘れないことが大切だと学びました。

最後に、久しぶりの集合研修となり、講師、受講者、会場スタッフが一体となって意見を交わし、休憩時間は、研修から離れて日々の支援業務についての情報交換が行われるなど、オンライン研修に慣れた日常とは異なる、新鮮な印象が残った研修となりました。





## 問題解決型ケース会議研修 第2回目

報告者：こども家庭支援委員会 徳岡 努

**開催日** 2022年7月31日 **参加人数** 18名  
**会場** 兵庫県福祉センター1階会議室  
**講師** 関西学院大学人間福祉学部 馬場 幸子 教授

## 【所感等】

問題解決型ケース会議研修第2回目は、最初から4グループに分かれて、講師から提出された課題について、グループで模擬ケース会議を行った。前回の事例を基に、ファシリテーター役のSSW、担任、養護教員等の役割を決め、本人の問題に焦点をあて、具体的に取り上げ、ストレングスを見出し、適切な目標が見い出せるように、論議を進めた。各班は、リアルに役割を再現しながら実際の会議さながらに意見を出し合い、それぞれのステップでの効果的な進め方を学び合った。思うようにまとめていくのは難しかったが、ファシリテーションを学ぶよい機会になった。

## 福祉専門ゼミナール（こうのとりのゼミ）2022年度前期

報告者：研修委員会 委員長 北山 涼一

- ①**開催日** 2022年6月10日 **参加人数** 18名 **開催方法** オンライン  
**テーマ** 人権教育としての性教育～包括的セクシュアリティ教育とは～  
**講師** 保健師・思春期保健相談士・「生」教育アドバイザー 大石 真那 氏
- ②**開催日** 2022年7月8日 **参加人数** 20名 **開催方法** オンライン  
**テーマ** 精神疾患をかかえた親と子どもを、絵本などのコンテンツを通して支援する  
**講師** NPO 法人ぶるすあるは 医師 北野 陽子 氏 看護師 細尾 ちあき 氏
- ③**開催日** 2022年8月19日 **参加人数** 16名 **開催方法** オンライン  
**テーマ** 精神障がいのある方が当たり前の生活を送るために  
～神出病院事件とソーシャルワーカーの権利擁護活動を考える～  
**講師** 兵庫県精神保健福祉士協会 会長・(創) シー・エー・シー 所長 北岡 祐子 氏

## 【研修・イベント概要】

「多様な権利擁護」を共通テーマに全3回の講座を開講。現在各現場の第一線でご活躍の方を講師に、リアリティあふれるお話を聞かせて頂きました。

## 【所感等】

会員だけではなく一般の方の参加もあり、且つ兵庫県下にとどまらず県外からの参加もいただきました。ソーシャルワーカーとしての社会福祉士が率先して、アドボカシーの実践を行っていくことの重要性を再認識させられました。

## 報告

# 令和4年度地域リーダー対象個別避難計画作成研修

報告者：兵庫県社会福祉士会事務局

開催日 2022年6月12日～ 参加人数 32名  
会場 兵庫県福祉センター

### 【研修・イベント概要】

自治会、民生委員、行政職員ら、32名の参加がありました。防災リテラシーの重要性、避難行動要支援者の理解などの講義を、みなさん熱心な様子で受講されていました。

本日より県内10圏域のほか、オンラインでも1回開催予定です。



## 報告

# 地域包括支援センター初任者研修

報告者：地域包括支援センター支援委員会

開催日 2022年6月22日 参加人数 44名 開催方法 オンライン  
講師 一般社団法人コミュニティーネットハピネス 代表理事 土屋幸己氏

### 【研修・イベント概要】

当委員会では、毎年、地域包括支援センターの初任者を対象に、一般社団法人コミュニティーネットハピネス代表理事土屋幸己氏を講師に迎え、研修を開催しています。今年度は参加者のうち約8割がセンター経験1年未満の方（6割が6か月未満）でした。

研修では、地域包括支援センターが設置された背景、業務の内容、特に「総合相談支援業務」「包括的・継続的ケアマネジメント支援業務」について、講義をいただきました。講義の後は、グループに分かれて、現状の業務、明日から取り組めること等について意見交換を行いました。

アンケート結果からは、「漠然としていたセンターの役割や機能が明確になった」「今後の実践に結び付けていきたい」「仕事への意欲が高まった」などの意見が聞かれました。

当委員会では、兵庫県委託事業の「困難事例対応力向上研修」等を通して、これからも地域包括支援センターで勤務する社会福祉士やセンター職員をサポートしていきたいと思っております。

## 報告

# 手続上の難しさを柔らか頭で考える

報告者：更生支援委員会 委員長 佐藤 寛士

開催日 2022年7月15日

## 【研修・イベント概要】

「刑事裁判の基礎知識」 飯畑正一郎委員

刑事手続にのってしまった対象者の中には、障がいによる特性や認知症など生活に生きづらさを抱えている方が一定数おられます。刑事裁判の基礎知識と題して飯畑委員から実践的な対応方法や、刑事手続の時間的な流れなど、福祉専門職に求められる視点を中心に学習会を開催しました。

対象者と制度をいかに結びつけるべきか、その方の生活をどのように支え、自立した生活をしていくべきかなど、更生支援委員会では制度のはざまや制度の利用方法のほか、ローカルな情報を含め、情報提供や情報発信をしております。ホッとしたい、難しいケースで悩んでいるという方々にとって、解決の糸口を見つけるヒントがあるかもしれません。奇数月の第3金曜日19時から活動しています。

## 報告

# 社会福祉士の働きっぷり

報告者：丹波ブロック役員 樋谷 顕祐

開催日 2022年7月23日

参加人数 16人

開催方法 オンライン

## 【研修・イベント概要】

今年度当会に入会したブロック会員を対象に、毎年恒例の「初任者研修」を開催しました。「社会福祉士の働きっぷり」という内容で、今回は自身が経営している居宅介護支援事業所で介護支援専門員および相談支援専門員をしている会員と基幹型地域包括支援センターに勤務する会員に日々の実践を発表してもらい、新入会員の皆さんに丹波ブロックで活躍する社会福祉士を知ってもらうことができました。また、発表してもらった2人には、日々の業務のことだけでなく、仕事と家庭・趣味との両立（ワークライフバランス）等についても話してもらい、新入会員の皆さんの緊張もほぐれ、実践発表後の交流会も和気あいあいと進めることができました。

オンラインによる研修や交流会にも慣れてきたところですが、新型コロナウイルスの蔓延が収束し、人と人との「つながり」を感じられる対面での研修や交流会ができる日が待ち遠しいです。



報告者：独立型社会福祉士支援委員会 委員長 乾 なち子

開催日 2022年7月30日 参加人数 56名 開催方法 オンライン

## 【研修・イベント概要】

県内外から3名の独立型社会福祉士をお迎えし、日々の実践をお話しいただきました。  
多方面の考え方や情報を得ることができました。  
その後の交流会では、各グループでは活発な意見交換をしていただきました。

## 【所感等】

オンライン開催に伴い、企画から開催案内、申込受付、班分け、Zoom練習、当日の準備など、不安いっぱいの中で本番を迎えましたが、大きなトラブルなく開催できました。  
委員会スタッフのご尽力と事務局の皆さまのご支援のもと開講できました。

## ○ 実践報告会の参加者感想

- ・経験したことのないことを、経験している人から聞くことができるのは、大変ありがたいです。
- ・いろいろな展開が想像できたので、印象深く感じました。
- ・お三方のご発表、グループワーク等での他県の方との交流、刺激になりました。

## ○ 交流会についての感想

- ・オンラインならではの、他府県の方とも交流できてよかったです。
- ・当事者の気持ちを聴き出せるような度量、人間力を高めていきたいと思います。
- ・それぞれ専門の立場が違ったことで、多方面の考え方や情報を得ることができたのが、すごく良かったです。
- ・本日の実践報告会で、新しい夢ができました。今日から、今後がとても楽しみです。
- ・今日の内容は、独立型とか関係なしに、もっとたくさんの介護・福祉で働く人たちに、聴いてもらいたい内容だと思います。

等がありました。



開催期間	2022年8月1日～8月23日
受講人数	423名
開催方法	オンデマンド配信
講師	高田 哲 氏（神戸総合療育センター診療所長／神戸大学名誉教授） 常石 秀市 氏（医療福祉センターきずな院長） 神谷 宣 氏（兵庫県相談支援ネットワーク理事） 幸田 淳 氏（兵庫県福祉部ユニバーサル推進課障害福祉基盤整備班班長） 藤本 幸子 氏（訪問看護ステーションつくし） 山下 順子 氏（西宮すなご医療福祉センター研修室長）

### 【研修・イベント概要】

医療技術の進歩を背景として、人工呼吸器や胃瘻（ろう）などの使用や、たんの吸引、経管栄養といった医療的ケアが必要な子どもが増えています。本研修は、医療的ケア児が地域において必要な支援を受け、地域で安心して暮らしていけるように、国の定めるカリキュラムに基づいて支援者を養成するものです。

昨年度よりオンデマンド配信での開催とし、本県独自のカリキュラムとして事後課題も設定しています。事後課題を新たに設けたことにより、研修の質を一定担保できましたので、今年度も引き続きオンデマンドでの開催としました。

また、参加者間の交流ができない点を解消するため、今年度は本研修受講者がZoom上で交流できる場を新たに設け、意見交換・情報共有の場の提供を行いました。

### 【所感等】

受講者数は昨年度の250名から約1.7倍に増え、医療的ケア児への支援の関心の高さがうかがえたほか、兵庫県外からは北は北海道、南は沖縄まで21都道府県43名が受講されたのはオンライン研修の利点であると言えます。

「総論」「医療」「福祉」「連携」「ライフステージにおける支援」の5科目14時間にわたる長丁場の研修ですが、「オンデマンドでの開催のため、仕事の合間などに自分のペースで学べた」「メモをしたい時に一時停止したり、時間と場所を選ばずに受講することができた」「何度も見直すことができ、理解を深めることができた」など好意的な感想が多数寄せられました。



## 報告

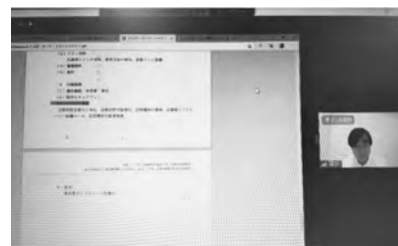
# 福祉専門職による減災～ BCPと災害・企業（事業体）の社会的責任

報告者：災害支援委員会 委員長 岡本 和久

開催日 2022年8月2日 参加人数 約100名 開催方法 オンライン

## 【研修・イベント概要】

永井幸寿弁護士（日本弁護士連合会 災害復興支援委員会 委員長・東日本大震災及び原子力発電所事故等対策本部 副本部長等を歴任。現在、関西学院大学 災害復興制度研究所 研究員）から、阪神淡路大震災や東日本大震災で実際に起きた係争事件の紹介と判例に基づき、なぜ、BCPの策定が必要なのか、事業体の責任について、大変興味深くご説明いただきました。



兵庫県以外からの参加者を含め全国から約100名の方にご参加いただきました。

## 【所感等】

BCP策定は目標ではなく、実際にBCPを策定したあと、実効性のある避難訓練やマニュアル等の周知を行う必要があること、事前に災害をイメージしながら、BCPをPDCAサイクルで見直していくことの重要性を学ぶことができた。本会におけるBCP策定にも役立つ内容であった。

## 報告

# 2022年度社会福祉士受験対策講座（ハイブリッド開催）

報告者：国家試験対策委員会 委員長 樹下 和幸

日程 2022年8月14日～9月25日（5日間） 参加人数 来場22名、オンライン17名  
会場 兵庫県福祉センター、Zoom オンライン

## 【研修・イベント概要】

2023年度・第35回社会福祉士国家試験の受験生に向けて、すべて本会会員が講師を務め、5日間・全19科目の講義を行っております。

講座終了後も、直前講座を開催したり、ブロック主催の自主ゼミにチューター派遣を行います。

同時に、SNSを活用し本講座受講生と繋がり、模擬問題出題や質問への回答、受講生間の交流など講師の皆さんや委員会スタッフが試験合格まで受験生を応援し続けていきます。

## 【所感等】

初のハイブリッド開催に向けて、打合せやハイブリッドでのセッティング練習を何度も行いました。

最後までセッティングを詰め切れず、不安いっぱいの中で開講初日を迎えましたが、大きなトラブルなく開催できました。

構想から1年、大変な道のりでしたが、委員会スタッフのご尽力と事務局の皆さまのご支援を結集し開講でき感謝、感謝です。



## 報告

### つどい場オンライン

報告者：東播ブロック 武田 拓也

開催日 8月18日

参加人数 21人

開催方法 オンライン

## 【研修・イベント概要】

「地域連携の実は」と題し行政や社協職員が語る地域連携の実態やポイントなどの情報交換を実施しました。

## 【所感等】

### 参加者の感想】

Fさん：他の社協の話が聞けて参考になった。

Iさん：社協の仕事って具体的に知らないことが多かったのでとても参考になった。

Tさん：現役社協職員による市や地域との連携の話、行政職員からは町内会長、民生委員等ボランティアで地域活動に携わる人と関わる際に感じる難しさといったなど、生の声を聞けて良かった。

Aさん：民生児童委員や町内会との関わり、包括やケアマネなどと在宅支援の関わりを聞くことが出来て良かった。



## 報告

### 公用車の愛称が決定しました！

こうのとりの通信夏号で募集した本会公用車の愛称ですが、多数の応募をいただきました。誠にありがとうございました。

応募愛称は、広報委員会にて検討し審査を行いました。

厳正なる審査の結果、「兵之助号」と決定いたしました。

ご応募いただいた黒川耕次さんには賞品（兵之助クリアファイル）を贈呈します。



## 神戸ブロック（ブロック長 中尾 美隆）

秋を感じられる今日この頃、皆さまいかがお過ごしでしょうか。

夏には新型コロナウイルス感染症第7波や猛暑などの対応で苦慮されたことと思います。

神戸ブロックの活動といたしましては、今秋に予定しておりました「まちかど相談会」は変わらずの感染症流行の状況により見合わせることにさせていただきます。

他の活動につきましては、感染症対策を施し、オンラインを中心として継続してまいります。皆さまのご参加をお待ちしています。

神戸ブロックの活動と今後の予定などをお知らせいたします。

### 【活動報告】

7月30日 13:00～14:30 ミニ勉強会&交流会

テーマ：『緩和ケア病棟、アドバンス・ケア・プランニング（人生会議）について』

講師：JCHO 神戸中央病院 医療福祉相談室 ソーシャルワーカー 橋爪太郎氏

神戸朝日病院 地域医療連携室 室長代理 安居正江氏

参加者：26名

### 【活動予定】

10月22日（土）13:00～14:30 ミニ勉強会&交流会

テーマ：『スクールソーシャルワーカーの取り組み～分野をこえて支え合う地域を目指して～』

講師：兵庫県社会福祉士会理事・こども家庭支援委員会委員長 福井良江氏

詳細は、研修案内をご覧ください。

### 【お知らせ】

- Facebook（フェイスブック）しています。検索「兵庫県社会福祉士会神戸ブロック」。
- 神戸ブロックのメーリングリストへの登録を希望される方は下記のアドレスにメールをお送りください。

kobe.block.fukushishikai@gmail.com



## 阪神ブロック（ブロック長 中原 克子）

阪神ブロックでは2ヶ月に1回役員会を開催するとともに、学習会や自主ゼミなどを推進しています。

今後も新型コロナによる感染影響をみながら、オンラインを積極的に活用し、会員交流や地域部会の活動など、ブロック活動を継続していきます。

### 【活動報告】

- 6月11日 ナイトカフェ・芦屋・西宮部会「特定技能外国人として日本で働くということ」  
20名参加
- 7月2日 ナイトカフェ・尼崎部会「こどもの権利擁護」20名参加
- 7月13日 役員会（Zoom）
- 8月20日 ナイトカフェ・伊丹・三田・宝塚部会「神戸いのちの電話相談活動から見えるもの」  
18名参加
- 9月30日 阪神ブロック学習会（Zoom）「マインドフルネス体験講座」

### 【活動報告】

Zoomにて「ナイトカフェ」（原則として第2土曜日の夜）を定期的で開催しています。

毎回、様々なテーマで話題提供いただき、ソーシャルワーカーの視点から意見・情報交換を行っています。

10月以降もメール等にてご案内いたします。お楽しみに！！

- 10月～1月、国家試験対策自主ゼミを開催します。お近くに受験予定者がおられましたら、ご案内をよろしく願いいたします。（詳細は別チラシ）
- 兵庫社会福祉セミナー in 阪神を2023年2月4日（土）に開催させていただきます。テーマは「災害時支援と地域共生社会におけるソーシャルワーカーの役割と期待」です。ぜひ、ご参加・ご予約をお願いいたします。

### 【阪神ブロックのメーリングリスト登録のお願い】

阪神ブロックで、当ブロックのメーリングリスト登録をしていない方は、担当者宛にメールを送信し、アドレス登録をお願いいたします。

阪神ブロック問い合わせ・メーリングリスト申し込み先

kazuhisa\_okamoto@office.city.kobe.lg.jp

ブ

ブロックインフォメーション ③

## 西はりまブロック (ブロック長 岸 剛健)

・開催行事予定 (日時・行事名・開催場所) :

9/30、10/28、11/25、12/23、1/27、2/24、3/24の19:00より プレミアムフライデー (オンライン交流会&ミニ勉強会\* 出入り自由) Zoom開催 (詳細は本会HP、Facebook参照)

2020年度4月から7月ののべ参加者76名

ブ

ブロックインフォメーション ④

## 丹波ブロック (ブロック長 中川 優一)

丹波ブロックでは、約2ヶ月に1回、平日の仕事が終わった18時ごろからオンラインで役員会を開催し、研修内容や会員同士の交流がどのようにできるか等を話し合っています。

当役員会では、ブロック会員の皆様と一緒にブロック活動を盛り上げていきたいと考えております。「入会してみたいけど、具体的な活動がまだできてなくて、きっかけがない」、「いろんな分野について勉強したい」、「いろんな分野の人(会員)と交流したい」と思っているブロック会員の皆さん! 気軽に [hacsw.tanba@gmail.com](mailto:hacsw.tanba@gmail.com) までご連絡いただければ、担当者より折り返しのメールをお送りいたしますので、お待ちしております!





## 研修委員会

委員長 北山涼一

### <会議開催実績>

6月18日、7月16日、8月2日

### <研修開催実績>

◇マインドフルネス実践講座(全4回・Zoom)

7月6日 19:00~20:30 最終回

◇会員交流事業・納涼会 (Zoom)

8月27日(土) 18:00~20:00

### <今後の活動予定>

◇マインドフルネス実践講座(全6回・Zoom)

11月11日(金) 19:00~20:30 第1回スタートします。

◇福祉専門ゼミナール「こうのとりのゼミ」

2022年度後期(全3回・Zoom)

共通テーマ【社会的養護の現状】

※詳細はP33・34の案内を参照ください。



## 調査研究委員会

委員長 竹森美穂

【2022年度実践研究発表会・実践報告会の企画が進行中】(その2)

○2022年度実践研究発表会・実践報告会の発表者を絶賛募集中です!

ソーシャルワーカーにとって、実践から湧き上がる問いについて調べ、実践研究として取り組むことは、ソーシャルワーカーとしての専門性の向上につながり、業務の改善や質の向上、利用者の福祉の向上につながる重要なソーシャルワーク実践の一つの形といえます。

皆さんが日々の実践の中で感じる、「なぜ?」という問いや、「どうして…」というモヤモヤ感を一度丁寧にひも解いて、実践研究という形にしてみませんか。また、研究という形にはならなくとも、実践を丁寧に振り

返り、報告としてまとめてみて、その貴重な報告をみんなで共有してみませんか。

今年度の実践研究発表会・実践報告会は12月4日(日)に開催予定です。発表申し込み要領などは、兵庫県社会福祉士会ホームページの研修情報に掲載されています。多くの皆さんの実践研究発表、実践報告をお待ちしています。また、基礎研修Ⅱで実践研究を経験された皆さん、その貴重な研究をぜひ発表してください。何よりも、実践を大切に見つめなおしてみたいと思う皆さん、ぜひ実践研究発表、実践報告にご応募ください。

○2022年度実践研究発表会・実践報告会の参加者申し込みを開始します!

「実践研究・実践報告にちょっと興味はあ

るけれど、発表はまだちょっと…」、「今のソーシャルワーカー仲間の関心を知りたい」、「とにかく、色々な研修に参加してみたい」、そんな皆さん、ぜひ参加してみてください。この研修会が、皆さんの実践研究への関心を引き出し、高めるものになればと準備を進めています。詳細は今月号のこのとり通信に同封しているチラシをご覧ください。

今回の実践研究発表会・実践報告会は、単に報告を聞くだけではなくて、参加者で「ソーシャルワーカーが研究するって…？」を考えるきっかけになるワークも企画しています。「SDGsを切り口に、自分たちのソーシャルワーク実践を考えてみたらどうなるのか?」、そのようなワークから、実践研究の入り口を探ってみたいと思います。皆さんの参加をお待ちしています！

【調査研究委員会の仲間を求めています】

調査研究委員会では主に、実践研究発表会・実践報告会の企画を通じて、会員の皆さんの実践研究をサポートしています。他にも調査研究委員会として取り組めることがないかと考えて委員会メンバーと検討を重ねています。現在は主にZoomを用いて委員会を開催していますが（必要に応じて対面実施も検討中）、活動に興味のある方はぜひ見学をお申し込みください。もちろん、調査研究の経験がなくとも構いません。調査研究は専門職であるソーシャルワーカーにとって決して縁遠いものではありません。むしろソーシャルワークととても近いものです。ぜひ一緒に、兵庫県のソーシャルワーク実践研究を盛り上げていきましょう！



## ソーシャルワーク研究委員会

委員長 真利 敦子

実施日：7月10日 10～12時  
実施場所：オンラインにて開催  
参加人数：14人

### 実施した内容の概要：

学習会テーマ 「あなたのことを気にしていますよ～ソーシャルインクルージョンの視点から」

実践報告を紹介していただき、みんなでソーシャルワーク理論やアプローチに当てはめながら話し合いをしました。活発な意見交換ができ、有意義な時間となりました。

### 次回委員会の予定：

・9月11日：10～12時 オンラインにて開催予定

学習会テーマ 「自身が高齢となり、支援を受ける側に近づいてきて思うこと（仮題）」

・11月13日（日）、1月8日（日）、3月12日（日）  
いずれも時間は10～12時 オンラインにて開催予定

（学習会テーマは未定）

委員会 4  
だより

## 地域移行支援委員会

委員長 清原幸代

当委員会は、地域移行支援をテーマに、退院支援員への支援会議や学習会を開催しています。

2020年度より退院支援の課題をはじめ、神出病院における虐待事案について弁護士会、精神保健福祉士協会等7団体において学習や意見交換等を進めるとともに、精神科医療等の現場で職員による虐待が起こっている背景や問題を考えています。

委員会は奇数月の第4木曜日の19時から開催しています。地域移行支援の経験がある方やご関心がある方は、ぜひ、ご参加・ご見学をお待ちしています（委員会への見学は事務局までご連絡ください）。

### <定例委員会>

奇数月の第4木曜日（19時～21時）  
次回以降 9月22日、11月24日、1月26日

※新型コロナの感染状況等により、オンライン形式または集合形式となります。

### <学習会>

11月24日（木）学習会（集合・オンライン）にて開催します。

関本 剛先生が今年4月に逝去されました。2年前に自身のがん疾患を公表されましたが、その後も緩和ケア医として勤務されるとともに、各地で講演をされてきました。

今回の学習会では、緩和ケア医であり、母親である関本 雅子先生から「関本先生が残されたもの、伝えたかったこと」をお話していただきます。ぜひ、ご参加をお待ちしています。

委員会 5  
だより

## 災害支援委員会

委員長 岡本和久

### <活動報告>

当委員会は、2011年3月の東日本大震災、2014年8月の広島豪雨、2016年4月の熊本地震等を契機に、県内外の自然災害等に対し、職能団体としてソーシャルワークを生かした専門的な支援を行うため、災害支援を行える人材（登録者）の養成に取り組んでいます。

また、災害支援にかかる本会のBCPの策定や災害マニュアルの策定等を進めるとともに、定期的に学習会を開催しています。

災害時支援はこれから重要なテーマです。ご関心がある方は、ご見学をお待ちしています。

### <開催行事>

学習会①「BCPと災害・企業（事業体）の社会的責任」

8月2日（オンライン）約100名  
学習会②「さあはじめようBCP！～BCP策定の基礎知識～」

10月4日（オンライン）

### <定例委員会>

偶数月の第1火曜日（19時～21時）  
次回以降 12月6日（火）、2月7日（火）  
オンライン形式

# メーリングリストのお知らせ

研修やイベント等の開催にあたり、台風等の自然災害により開催日時が変更になる場合があります。緊急のお知らせは「ひよこメーリングリスト」で発信しますので、登録しご確認できるよう、宜しくお願いいたします。

## 【メーリングリストに登録して便利なこと】

- ☛ メーリングリストに登録している全会員に対して、一斉に且つタイムリーに研修や職員募集等の情報を配信できます。
- ☛ こうのとりに通信への記事掲載が間に合わないなど、一部の情報はメーリングリストでしか配信されないものもあります。
- ☛ 災害時においては、会員の安否確認や被害状況の共有もできます。

## 【メーリングリスト利用の注意点】

- ☛ ご登録いただいているメールアドレスへの配信が何らかの理由で5回エラーが記録されるとシステム上、自動的に登録解除となります。
- ☛ 他者への誹謗中傷、公序良俗に反するものでなければ情報配信いただけますが、メーリングリストは情報共有がメインとなるためディスカッションの場として活用することをご遠慮ください。また、メーリングリストへの投稿がふさわしい内容か配信前に今一度ご確認ください。
- ☛ メーリングリストには携帯電話のアドレスで登録している方もいるため、早朝・深夜の時間帯はなるべくお控えください。

## 【ひよこメーリングリスト登録方法】

会福祉士は相談援助の専門職です

希望を尊重し、家庭環境・生活環境や心身の状態などに  
しながら、あなたにとって最も良い方法で支援します

最新情報  
What's new

会員登録ページ

メーリングリスト登録フォーム

入会希望の方は  
こちら

1. 「兵庫県社会福祉士会」のホームページにアクセスします。

URL : <http://www.hacsw.or.jp/>

※ スマートフォンからもアクセスできます。

QRコードはこちら ⇒



2. 「メーリングリスト登録フォーム」のボタンをクリックします。

3. 登録申込フォームが開くので、会員番号・氏名等の必要事項を記入し、「送信内容を確認する」ボタンをクリックします。

4. 入力内容を確認し、間違いがなければ「送信」ボタンをクリックします。

※事務局で会員確認した上での登録となりますので、即日登録できないことをご了承ください。

## ■ 委員会責任者名

Committee person in charge

研修委員会	北山 涼一	こども家庭支援委員会	福井 良江
調査研究委員会	竹森 美穂	実習教育支援委員会	岸 剛健
国家試験対策委員会	樹下 和幸	独立型社会福祉士支援委員会	乾 なち子
広報委員会	中山 貴之	障がい福祉委員会	大塚真由美
相談委員会	大庭 絵里	更生支援委員会	佐藤 寛士
ソーシャルワーク研究委員会	真利 敦子	地域移行支援委員会	清原 幸代
高齢者・障害者虐待対応委員会	田島 啓子	生活困窮者支援委員会	谷口 智昭
ばあとなあ兵庫	兎住 剛	災害支援委員会	岡本 和久
地域包括支援センター支援委員会	山内 賢治		

委員会活動に興味・関心のある方は、委員会見学申込書をご利用ください。  
委員会見学申込書の書式は、本会会員専用ページからダウンロードすることができます。

広告

家屋解体のことなら  
当社へお任せ下さい！

# ダイネンの 家屋解体サービス

- 解体どこに頼めばいいの
- 空家の家財どうしたらいい
- 老朽化した空家を所有
- 家屋が崩れそう

定期管理から解体・売却まで空き家に関する相談承ります

## 空家管理

- 1ヶ月に1回建物巡回
- 郵便物回収
- 通気換気
- 巡回報告書の提出(毎月)

サービス提供エリア 兵庫県南西部

## ダイネン株式会社

燃料事業部

〒672-8555 姫路市飾磨区中島3001

お気軽に  
お問い合わせ  
ご相談下さい

# ☎079-234-7176

受付時間/9:00~17:00(土日・祝日、盆休み・年末年始は除く)

ダイネン 空き家管理サービス

このようなお悩みをお持ちの方が周りにいらっしゃいませんか？

- ▶障がいがあって、仕事ができない。生活が苦しい。
- ▶障害年金に該当するか分からない。申請の仕方もわからない。
- ▶自分で障害年金の請求をしてみたが、不支給になった。なぜなんだろう。
- ▶障がいのある子どもの将来が心配だ。 などなど・・・



**障害年金**

をご存知ですか？ 障害年金は公的な「保険」です。病気やけがで苦しむ方、  
そのご家族の方に少しでも安心して頂くために申請をお手伝いしています。

うつ病・統合失調症・双極性障害・糖尿病・がん・肝硬変・脳梗塞・脳出血・知的障害・  
発達障害・人工透析・人工関節・ペースメーカーなどほとんどの病気が対象です。

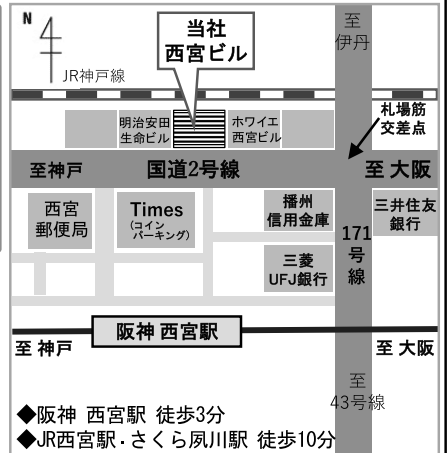
複雑で面倒な障害年金の申請を  
社会福祉士と社会保険労務士の  
ダブルライセンス保持者の代表が  
フルサポートいたします！



代表 牧江 重徳  
(社会福祉士・社会保険労務士)

初回無料面談のご予約は☎0798-37-1223(直通)まで  
申請に関わる要件・見込み・金額など無料でご相談をお受けします。

社会保険労務士法人 牧江 & パートナース 牧江社会福祉士事務所  
併設：兵庫・大阪障害年金相談センター  
〒662-0971 西宮市和上町5番9号 西宮ビル 0798 (37) 1223



うすき行政書士事務所  
(うすき社会福祉士事務所併設)

ご相談はこちらまで。  
どこでも駆けつけます！



行政書士のマスコットキャラクター ユキマサくん

いずれかに当てはまる方は是非一度お問い合わせください！

- 福祉サービス事業所を立ち上げたい。
- 新しく会社やNPOを興したいと考えている。
- 認定NPO等の準備を考えている。
- 社会福祉法人・医療法人を設立したい。  
定款変更・規則作りなど運営内容に助言がほしい。
- 保育所・認定こども園をやりたい。
- 成年後見を活用したほうがいい方がいる。
- 遺言書、遺産分割、相続手続きに悩んでいる。

《業務内容のご紹介》

- ・各種公益法人(社団・財団・社福・医療)の設立手続き
- ・株式会社、NPO法人など設立手続き
- ・障害福祉サービス事業の手続き
- ・介護・障害サービス等の設立手続き等
- ・介護タクシーの許可取得
- ・遺言書、遺産分割協議書作成
- ・相続対応や成年後見制度の活用など
- ・クーリングオフなどの内容証明郵便作成
- ・訪問介護等の駐車許可申請などの自動車関係
- ・その他、契約書や覚書作成の事実関係業務 など(弁護士、司法書士、社会保険労務士、税理士等と連携して業務を行うこともあります)

これからも初心を忘れず

うすき行政書士・社会福祉士事務所 (大口事務所 併設)

兵庫県西宮市本町7番15号

(阪神西宮駅南 徒歩5分 西宮えびす神社そば)

兵庫県行政書士会・兵庫県社会福祉士会 会員

お電話はこちら！

0798-34-3999

090-9264-7594

sp8c6h89@aurora.ocn.ne.jp

※行政書士法第1条2行政書士は、他人の依頼を受け報酬を得て、官公署に提出する書類、その他権利義務又は事実証明に関する書類を作成することを業とする。(行政書士は業務独占です。行政書士以外の者が他人の依頼を受け報酬を得て業務を行うと行政書士法違反になります。)



## 契約市町、虐待対応専門職チームとの座談会について

県内の虐待に関する専門的相談・支援体制を充実するために、兵庫県弁護士会および兵庫県社会福祉士会の両専門職団体が連携し、「虐待対応専門職チーム」の派遣を行っていることはご存じでしょうか。

近年、ますます多様化、複雑化する虐待事案への対応に際し、法的見解や福祉的視点から、課題整理や方針を導くためのアドバイス、よりよい支援のために気づきの促しなどを行う「虐待対応専門職チーム」の活用を促進するため、令和4年6月6日、契約市町、虐待対応専門職チームとの懇談会を開催いたしました。



契約市町の担当者からは、「マニュアル改訂のアドバイスを求めたい」といった具体的な専門職チーム活用に関することや、「出席自治体をもっと多ければよかった」といった懇談会のあり方に関するご意見等がありました。担当者が交代した市町も多く、今後、改めて「虐待対応専門職チーム」の意義・役割を周知していくことや、県内の派遣要請結果等を共有していく必要があることを再認識する機会となりました。

私自身、日々の虐待対応では、例えば、事実確認時のケースへの介入方法や虐待有無の判断、やむを得ない措置など権限の行使で判断に迷う状況にしばしば直面しています。その際は、マニュアル・帳票を活用し、専門職チームでの経験を振り返りながら、出来るだけ客観的な視点で課題や支援方針等を整理するように心掛けています。



虐待対応時、支援が必要な方へどのように関わるか判断に迷う、また、対応後も課題や不安が残った場合は担当者だけで抱え込まず、是非とも「虐待対応専門職チーム」の活用を宜しくお願いいたします。

副委員長 市場 大輔

### 【土田 晋平 委員に きいてみよう！】

**Q1 高齢者・障害者虐待対応委員会に入ったきっかけは何ですか？**

A1 もともとのきっかけは、現在、高齢者・障害者虐待対応委員会に所属されている委員さんからお声がけいただいた事が、私が虐待対応委員会に入会したきっかけです。私が地域包括支援センターで社会福祉士として勤務していた頃より、社会福祉士としてこれからも虐待対応・虐待防止・権利擁護について、もっと学びを深め、勉強していきたいと考えておりましたので、入会させていただく事となりました。

**Q2 今後、どのような活動に力を入れて行きたいですか？**

A2 これまで委員会では、主に高齢分野で活動をさせていただいています。最近は、障害分野での活動も少しずつ増えてきております。これからの活動についてですが、やはり、まずは現在の委員会の活動を担っていく中で、自身の質、力量の向上を図っていく為、経験を積み重ねながら勉強していきたいです。そして、『いつか』ではありますが、私自身が福祉で働き始めた当初、児童分野で働いていた事もあり、児童分野における活動に携われたらと思っています。

## 虐待対応 Q&A

**Q:** なぜ支援困難事例として対応するのではなく、“虐待”と認定する必要があるのでしょうか。



**A:** 高齢者虐待対応の目的は、虐待を解消し、高齢者が安心して生活を送るために環境を整えることです。その目的を実現するために、虐待を受けている高齢者の保護はもとより、必要な場合には、養護者も支援の対象として明確にするために、虐待と認定することが重要です。相談や通報を受け付けた事例が高齢者虐待に該当するかどうかを判断することは、高齢者や養護者を支援の対象として位置付けるためになされるものです。また、高齢者虐待と認定することで、市町村権限の行使も含めた適切な対応を検討することが可能となります。このとき、高齢者や養護者の虐待に対する自覚は問いません。客観的に見

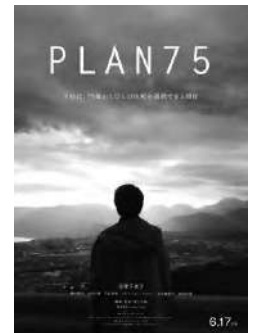


て、高齢者の権利が侵害されていると確認できる場合には、虐待と認定して対応を行う必要があります。

※香川県高齢者虐待防止・対応マニュアルより

## 👉 おすすめの映画

### 「PLAN 75」



75歳以上が自らの生死を選択できる「プラン75」。

この架空の制度を媒介に、「生きる」という究極のテーマを全世代に問いかける衝撃作が誕生した。

～ 「PLAN75」公式サイトより

冒頭から高齢者が襲撃された（らしい）シーンで犯人が「本当はみんなも同じ考えのはず」と、かつての「津久井やまゆり園事件」の犯人とよく似た発言をし、かなり不快な気分が始まります。その後、満75歳から生死の選択権を与える制度「プラン75」が国会で可決・施行された、という少子高齢化が進んだ近未来の日本が舞台の映画です。個人の意思を尊重した「尊厳死」を謳っているようでありながら違和感を感じます。

医療を受ける中で自分の尊厳を守るために自分らしい生き方の延長としての「尊厳死」は理解できますが、福祉の選択肢としての「尊厳死」という考え方は理解できません。

死ぬことでしか自分の尊厳を守れない社会とはどんな社会なのでしょう…。そして、一度は「プラン75」を契約しながらもラストでは生きることを選択した主人公ですが、彼女の前には不安ばかりの日暮れの町が映し出されます。彼女が「生きる」と選択したことを後悔しない社会であること、これからの日本がそうあってほしいことを望むばかりです。

高齢者・障害者虐待対応委員会 大庭絵里

## 高齢者・障害者虐待対応委員会の動き

(2022年6月～2022年8月)

日付	活動内容
<b>【講師派遣】</b>	
7月7日	神戸市 包括新人職員向け
7月12日	伊丹市 障害
8月18日	加東市 高齢
<b>【専門職チーム派遣】</b>	
7月22日	多可町 高齢
7月28日	丹波市 高齢
8月16日	神戸市 高齢
8月25日	丹波市 高齢
8月25日	神戸市 高齢
<b>【弁護士とのワーキング】</b>	
6月6日	契約市町との意見交換会/通常ワーキング
8月3日	通常ワーキング 県委託事業打合せ・他
<b>【県委託向上研修】</b>	
7月3日	障害者虐待A研修収録 (8月1日から視聴開始)
7月3・5日	高齢者虐待A研修収録 (8月1日から視聴開始)
<b>【定例委員会】</b>	
6月19日	定例委員会/Zoom 会議
8月11日	臨時委員会/Zoom 会議
8月17日	臨時運営委員会/ Zoom 会議
8月21日	定例委員会/Zoom 会議
<b>【相談員派遣】</b>	
毎月 第1・3・5 火・木曜日	兵庫県弁護士会主催 「高齢者・障害者のための弁護士 電話法律相談」

令和4(2022)年10月

兵庫県在住・在勤の社会福祉士の皆様

実習指導者アップデート講座開講のご案内

一般社団法人兵庫県社会福祉士会  
実習教育支援委員会

いつもソーシャルワーク実践を通じてクライアントの生活課題解決に尽力いただきありがとうございます。日本社会福祉士会より、「実習指導者アップデート講座」開講の連絡が来ましたので、広く社会福祉士の皆様にお伝えします。

新カリキュラムでの実習受け入れには、新カリキュラムに準拠した実習指導が求められます。今まで取得された「実習指導者講習会修了証」は今後も継続して使用いただけますが、新カリキュラム実習生対応にはアップデートの必要がありますので、早めにこの講座の受講をお済ませください。

また、新カリキュラム実習生は年次によって違いがありますので、詳しくは実習依頼をした各養成校にご確認ください。

### 講座開講の趣旨

先般、社会福祉士及び精神保健福祉士養成カリキュラムの見直しが行われ、両資格ともに令和3年度より新たなカリキュラムによる養成が実施されることになりました。

日本社会福祉士会は、この見直しを受け、国民の福祉に関するニーズに適切に対応し支援を行う事ができる社会福祉士及び精神保健福祉士を養成する観点から、養成カリキュラム見直しの背景・新カリキュラムの構造・教育内容・教育方法等について、実習指導者や実習受け入れをする事業所等が共有すべき内容をまとめ、「実習指導者アップデート講座」を作成しました。

講座は、新カリキュラム実施にあたり、昨年度まで実施していた社会福祉士実習指導者講習会のプログラムを見直し、今年度から実習指導者講習会で提供する内容との違いを整理してオンラインでお伝えするものです。

### 新カリキュラムの変更ポイント

1. 「相談援助実習」から「ソーシャルワーク実習」への名称変更
2. 実習時間の増加（180時間から240時間へ）
3. 1ヵ所実習から機能の違う2ヵ所以上の実習へ
4. 2・3を実施するための養成校教員と実習先実習指導者との連携強化

### 受講対象

社会福祉士実習指導者講習会を受講し、実習指導に携わった経験のある方（受講時期・受講場所<兵庫県以外受講でもOK>・指導年数や指導人数は問いません）、あるいは社会福祉士実

習の受け入れをしていたか、これから受け入れ予定の施設・機関の社会福祉士

**参考資料**（以下のテキストの通読をおすすめします）

「新版社会福祉士実習指導者テキスト 公益社会法人日本社会福祉士会編集」

中央法規出版 2022年4月30日発行 税別 2800円

**受講費用**（ただし、講座視聴に係る通信費は受講者負担です）

1. 兵庫県社会福祉士会会員：無料
2. 兵庫県社会福祉士会非会員：4000円

**受講方法**

<兵庫県社会福祉士会会員の方>

1. 日本社会福祉士会 HP トップページに入り、「e-ラーニング講座」をクリック
2. ユーザーID とパスワードを入力

※ユーザーID は、会員番号です。

※パスワードは、生涯研修制度管理システムのパスワードと同じです。

※以前にログインしたことがある方でパスワードを忘れた方は、「こちら」をクリック。

※ログインしたことがない方は、兵庫県社会福祉士会事務局へお問い合わせください。

（事務局営業日時は、平日9時～17時です。土・日・祝日の対応はできません。）

3. ログインするとスタートページが現れるので、「実習指導者アップデート講座」をクリック。

<兵庫県社会福祉士会非会員の社会福祉士の方>

あらかじめ日本社会福祉士会への登録を行いユーザーID とパスワードを取得してください。その上で取得したID とパスワードでログインしてください。

ユーザーID とパスワードの取得には、氏名（ふりがな）・生年月日。連絡先メールアドレス・連絡先住所・電話番号・社会福祉士登録証の写しを明記・添付のうえメールを日本社会福祉士会（e-learning@jacsw.or.jp）宛に送付してください。

**講座内容**（資料がダウンロードできます）

「実習指導概論 25分03秒」、「実習マネジメント論 22分31秒」、「実習プログラミング論 パート1 27分59秒」、「実習プログラミング論 パート2 19分43秒」、「実習プログラミング論 パート3 25分29秒」、「実習スーパービジョン論 26分08秒」

**問い合わせ先**

兵庫県社会福祉士会事務局（西野） 電話：078-265-1330

兵庫県社会福祉士会 HP「お問い合わせのページ」の利用もどうぞ。

## 社会福祉士国家試験対策（オンライン「自主ゼミ」のご案内）

### 2023年社会福祉士国家試験合格を目指されているみなさんへ

- 国家試験対策講座の開催とともに、地区ブロックとの協力により「自主ゼミ」を開催します。
- 来年2月、社会福祉士国家試験を受験されるみなさんと一緒に勉強しながら、合格をめざしましょう！
- ご希望の試験科目を選択しながら、自主的に学習を行うことができます。
- 新型コロナの感染防止のため「オンライン（ZOOM）」開催です。
- 分からないことや質問があれば、地区ブロックの会員（社会福祉士）がサポートします！！



**共 催** 国家試験対策委員会・神戸・阪神・西はりま・淡路ブロック

**期 間** 2022年10月～2023年1月（第2・4金曜日・全7回）

**日 程**

10月14日（金）	福祉行財政と福祉計画（担当：河本／阪神・国試）
10月28日（金）	高齢福祉・人体と機能（担当：中村／阪神・国試）
11月11日（金）	社会理論（担当：毛利／神戸・国試）
11月25日（金）	権利擁護（担当：原田／阪神・国試）
12月 9日（金）	障害福祉（担当：松岡／神戸）
12月23日（金）	低所得者支援と生活保護（担当：近藤／阪神・国試）
1月13日（金）	社会保障・保健医療サービス（担当：宮崎／神戸・国試）

**時 間** 各回 19時00分～21時00分（120分）（受付18時45分～）

**場 所** ご自宅等

**準備物** 筆記用具・自主勉強用参考書（過去問題、テキスト等）

**参加費**（資料代等）全7回・7000円（一般価格）

全7回・3500円（2022国家試験対策講座受講者・大学生優待）

※ただし、科目を選択する場合は1日あたり・1000円（優待500円）

**定 員** 20名程度（途中からの参加もOKです）

**対象者** 2023年2月の社会福祉士国家試験の受験を予定している方  
（兵庫県以外にお住まいや勤務されている方も歓迎いたします！）

○申込み方法 氏名、住所、電話番号、アドレス（受講時用）受講希望日（全日または希望日）、事前ガイダンス希望日（9月26日または28日）を明記の上、9月23日（金）までに兵庫県社会福祉士会事務局（entry@hacsw.or.jp）までメールにてお申込みください。（10月14日以降も随時受付します）

○後日、指定アドレスへ「オンライン自主ゼミ（ZOOM）の招待状」をお送りします。

○事前ガイダンス（オンライン）19時～30分程度・26日か28日のどちらかにご参加下さい

○参加費は期日（10月下旬）までに指定口座へ振り込みをお願いします。（後日案内）

○お問い合わせ先：兵庫県社会福祉士会（078）265-1330

# 令和4年 集い場 ZOOM開催

東播地区ブロック役員経験者が語る「〇〇の実」シリーズ。担当メンバーの座談会に皆さんも参加しませんか。気になることはどんどん質問したり、会話にご参加ください。もちろん聞くだけでもOKです。お仕事やご家庭の都合ですべての時間の参加が難しい場合は途中参加、途中退席もOKです！奮ってご参加ください。※担当者は、都合にて変更になる可能性があります。

ミーティングID【883 1353 7628】 パスワードなし



ブラックジャックによるしく 佐藤秀峰

第3回目

## 採用・育成の実は

10月20日(木)  
19:00

採用・育成の担当管理職が語るポイントや手法、トレンド

- ★田村智之 (三幸福社会 清華苑 採用・育成担当部長)
- 高木裕佳 (明石恵泉福祉会 採用責任者)
- 三野望美 (みきやまりハビリテーション病院 地域連携室長)
- 西野 誠 (明石市社会福祉協議会 実習指導担当)

第4回目

## ICT・BCPの実は

12月15日(木)  
19:00

ICT導入のメリット・デメリットやBCPの必要性

- ★森保純子 (森のすず社会福祉士事務所/認知症ICT、福祉防災)
- 岩西太一 (特別養護老人ホーム清華苑 BCP作成担当)
- 大久保健太 (老人保健施設清華苑養力センター 支援相談員)
- 武田拓也 (武田社会福祉士事務所)

第5回目

## 成年後見の実は

2月16日(木)  
19:00

それぞれの立場で語る成年後見を取り巻く環境

- ★高木裕佳 (ばあとなあ運営委員)
- 高田大輔 (加古川市成年後見支援センター)
- 森保純子 (森のすず社会福祉士事務所/成年後見受任業務)
- 阿部直樹 (おおくぼ地域総合支援センター/成年後見支援業務)

主催 兵庫県社会福祉士会東播磨地区ブロック



申込不要\*他ブロック会員参加OK

～2022年度 第2回～

## 神戸ブロック ミニ勉強会&交流会

Zoom

神戸ブロックでは、今年度、オンラインミニ勉強会&交流会を開催しています。

第2回目は、本会理事・こども家庭支援委員会委員長の福井良江氏を講師にお迎えし、スクールソーシャルワーカーの取り組みや、地域での活動、特に今回は、高齢者施設と一緒に地域のこどもたちを支援している活動についてもお話いただき、参加者の皆さまと意見交換をしたいと思います。

申込みは不要です。神戸ブロック以外の方もご参加いただけます。  
多くの方のご参加をお待ちしています。

◇日時：令和4（2022）年10月22日（土）13：00～14：30  
（受付開始：12：45～）

◇テーマ：スクールソーシャルワーカーの取り組み  
～分野をこえて支え合う地域をめざして～

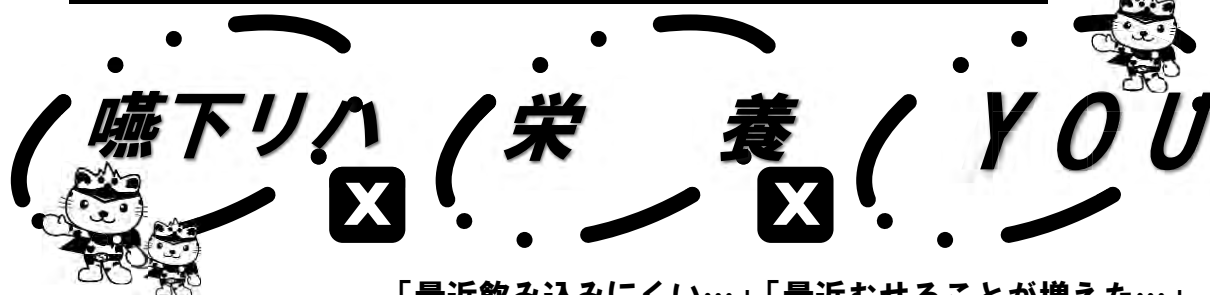
◇講師：兵庫県社会福祉士会理事・こども家庭支援委員会委員長  
福井 良江氏

◇参加費：無料      ◇申込み：不要

◇参加方法：各自で下記ID・パスコードでZoomに入室してください。

ミーティング ID : 889 9358 9859  
パスコード : 397014

◇当日の連絡先： kobe.block.fukushishikai@gmail.com



「最近飲み込みにくい…」 「最近むせることが増えた…」  
 それ、「歳のせい」にしてしまいませんか？  
 美味しく食べて、心身ともに元気に暮らすために  
 出来ることを一緒に考えましょう！！

日時 2022.11.6 (日)

14:00~16:00 受付開始 13:30~

講師

**募集** 食事写真の送付募集します!!  
 管理栄養士がアドバイスします!!

内橋 恵 氏

関西セラピスト交流会 副代表  
 脳卒中リハ看護認定看護師  
 サルコペニア・フレイル指導士

橋本 賢 氏

神戸医療未来大学 人間社会学部 教授

高嶋 典子氏

大阪夕陽丘学園短期大学 食物栄養学科 准教授  
 滋賀県立総合病院 管理栄養士



参加方法

オンライン：Zoom

参 集 型：姫路市民会館第3会議室



◆◆◆ 9/1~当日までに右記のQRコードまたは、下記に記入しFAXにてお申込みください◆◆◆

参加費

会 員：無料 非会員：1000円

フリガナ		<input type="checkbox"/> 会員 <input type="checkbox"/> 非会員	会員番号	
氏 名		勤務先(任意)		
連絡先	<input type="checkbox"/> 自宅・携帯 <input type="checkbox"/> 勤務先	電 話		
		E-mail		
ケアマネ シール	<input type="checkbox"/> 要 <input type="checkbox"/> 不要	※オンライン参加でシールを希望される方は返信用 封筒(切手添付・宛先記入)を下記に送ってください。		

一般社団法人 兵庫県社会福祉士会 西はりまブロック事務局 岸剛健  
 申 込 Mail [staygoldtake2856@infoseek.jp](mailto:staygoldtake2856@infoseek.jp)  
 当日の連絡先 TEL 080-5038-9420 FAX 050-3730-2710  
 シール請求先 ☎671-1116 姫路市広畑区正門通1丁目8番地10



2022年度後期 福祉専門ゼミナール

愛称：このとりゼミ



全3回 11月11日 / 12月9日 / 1月13日  
金曜 夜 19:00~20:30

スペシャリストであり、ジェネラリストでもある社会福祉士は、幅広い知識と技術を有する必要があります。このとりゼミは、多岐にわたる専門分野からエキスパートを講師にお招きする魅力的な講座。今回は「社会的養護の現状」を共通テーマに3講座を開催。料金も3回セットが断然おトク！この機会に是非ご参加ください。

第1回 11/11 (金) 【締切：10/28 (金)】

社会的養護における心理支援の実際～児童自立支援施設での取り組みを中心に～

樋口 純一郎 氏 神戸市心理判定員

第2回 12/9 (金) 【締切：11/25 (金)】

社会的養育推進計画における児童養護施設の現状と課題～こどもの権利擁護とソーシャルワークの視点から～

副島 和明 氏 児童養護施設神愛子供ホーム施設長

第3回 1/13 (金) 【締切：12/16 (金)】

ファミリーホームを身近に感じて頂きたく、ライブ中継します～なかのこの里より～

中野 秀彦 氏 中野ホームなかのこの里養育者 他、家族一同

※会員限定でファミリーホーム見学会を計画しています。

料金：3回セット 会員 5,000円 / 一般 7,500円 【締切：10/28 (金)】

1回ずつ 会員 2,000円 / 一般 3,000円 【各回ごとの締切日】

準備：PCやタブレット、スマートフォンにZoomアプリ『ZoomCloudMeetings』をインストールのうえ、安定した通信環境でご参加ください。

【申込方法】締切日までに下記 URL か QR コードからお申込みください。

<https://forms.gle/V7TwtoQZpjEFD9K8>

上記の方法でお申込みできない場合は【entry@hacsw.or.jp】宛てに、①メールアドレス②氏名③ふりがな④電話番号⑤会員 or 一般⑥会員番号（会員は必須）⑦受講希望日⑧所属⑨職種・役職を明記し、件名には「このとりゼミ申込み」と必ず記載して送信してください。Zoomの招待メールを受信できるアドレスからの申込みに限ります。



# マインドフルネス基礎講座

～マインドフルネスの基礎を学び、実践力を身につける～

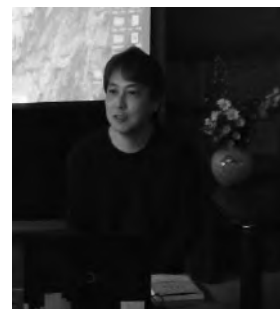
「マインドフルネス」とは「こころのエクササイズ」であり瞑想法を用いたストレス解消法。近年、医療、教育、福祉、スポーツの現場や企業等においても幅広く実践されています。

◎こんなあなたにおすすめです！

- ・マインドフルネスの基礎を学び、マインドフルネスを実践する方法を学びたい
- ・ソーシャルワークの支援関係における傷つきや燃え尽き体験（バーンアウト）から、ご自身のからだところを守りたい
- ・日常生活における様々な癒しやストレスケアに関する理解を深めたい

## 講師 池埜 聡 氏（関西学院大学人間福祉学部教授）

UCLA ソーシャルワーク学科博士課程修了（Ph.D.）。UCLA マインドフル・アウェアネス・リサーチ・センターのマインドフルネス指導者認定資格及び国際マインドフルネス指導者協会より同認定資格を取得。福祉・医療専門職のストレスマネジメント力の向上および支援対象者との援助関係の深化を図るため、マインドフルネスを様々な福祉・医療・教育の臨床現場で実践している。



日 時 11月11日（金）・18日（金）・25日（金）・12月2日（金）・9日（金）・16日（金）  
各日 19:00～20:30（受付 18:30～）

※全6回の連続講座ですが、可能な範囲でご参加いただけます。

※当日ご参加できなかった場合は後日、録画視聴が可能です。

※内容を一部改訂していますので、昨年度受講された方もぜひ、再受講をおすすめします。

※全6回参加された方（録画視聴を含む）には修了証を交付いたします。

開催方法 Zoom ミーティングを使用したオンライン開催

対象・定員 福祉・医療職 50名程度（先着順。最少催行人数 15名）

参加費 都道府県社会福祉士会員 15,000円 一般 20,000円（テキスト代別途必要）

※使用テキスト「福祉職・介護職のためのマインドフルネス/中央法規出版/2017年」

※再受講者は 7,500円（特別価格）にてご優待いたします。

※うつ、PTSD、不安症等、参加にご不安をお感じの方は、事前にご相談ください。

申 込 10月28日（金）までに下記 URL か QR コードからお申込みください。

<https://forms.gle/Vst5oDPcaK5qnkRf6>

※上記の申し込みができない場合は、メールにて①メールアドレス②氏名③ふりがな④電話番号⑤社会福祉士会会員 or 一般⑥会員番号（会員は必須）⑦郵便番号⑧住所⑨職場・所属⑩職種・役職⑪マインドフルネス受講歴（今回は初めて or 2020年度・2021年度受講済）を入力の上、件名に必ず「マインドフルネス基礎講座の申し込み」を入れてお申込みください。



テキスト 上記のテキストをお持ちでない方は下記 URL から別途注文をしてください。

<https://forms.gle/MbS8xEcwaAvX2hseA>

こちらからお申込みいただいた方に限り特別価格にて購入いただけます。

※お申込みからお届けまで約1週間から10日かかりますので、予めご了承ください。その他、詳細については専用フォームに記載しておりますので、ご確認ください。



問い合わせ 兵庫県社会福祉士会・事務局 TEL 078-265-1330 Mail: [entry@hacsw.or.jp](mailto:entry@hacsw.or.jp)

# 私たちには、 何ができるのか？

## -ヤングケアラー当事者の立場から支援を考える-

「ヤングケアラー」という家庭内で家族の世話や介護を日常的に担っている子どもたちは20人に1人いると言われています。しかし、その多くは負担が大きくなっても自身からSOSを発することが難しい状況にあります。

教育・医療・福祉などの現場では、これまでヤングケアラーの存在を十分に把握することができずにきました。今こそヤングケアラー当事者の声に耳を傾ける必要があります。

ヤングケアラー当事者の立場から、どのような支援が求められているのかをお話いただき、ソーシャルワークの現場から見えてきた課題とこれからの支援のあり方を考えます。

2022年  
11月23日  
(水・祝)  
10:00～  
16:30

### ■ 第1部 特別講演「祖母と母と過ごした時間」

川崎 大介 氏 NHK等にて、元ヤングケアラー当事者としてのケア経験を話される。ふうせんの会運営委員

### ■ 第2部 基調講演「ヤングケアラー支援の動向と必要な支援」

堀越 栄子 氏 一般社団法人日本ケアラー連盟代表理事

日本女子大学名誉教授。認定NPO法人さいたまNPOセンター代表理事。埼玉県ケアラー支援に関する有識者会議委員。日本女子大学で教育研究に携わりながら、1980年代より地元さいたま市、埼玉県において地域の暮らしやまちづくりの活動を続ける。2010年には連盟の設立に加わり、ケアラー全国調査、ヤングケアラー自治体調査、政策提言を行う。



### ■ 第3部 シンポジウム「ヤングケアラー当事者の立場から支援を考える」

黒光 さおり 氏 スクールソーシャルワーカー・社会福祉士・公認心理師

辻 幸志 氏 神戸市こども・若者ケアラー交流・情報交換の場「ふうのひろば」総括コーディネーター (NPO法人こうべユースネット理事長)

中山 貴之 氏 兵庫県ヤングケアラー・若者ケアラー相談窓口統括 (一般社団法人兵庫県社会福祉士会事務局次長)

【参加方法】会場>神戸市中央区文化センター(11階会議室) 定員:50名  
オンライン>Zoomミーティングを使用したオンライン 定員:200名

【参加費】2,000円/主催5団体会員 3,000円/一般

主催5団体:兵庫県社会福祉士会・兵庫県介護福祉士会・兵庫県精神保健福祉士協会・兵庫県介護支援専門員協会・兵庫県医療ソーシャルワーカー協会

【申込】10月31日(月)までに下記URLまたはQRコードからお申し込みください。

URL: <https://forms.gle/ghmU262DdYZeo7739>

※後日視聴(オンデマンド配信)予定

【問い合わせ】兵庫県社会福祉士会事務局 078-265-1330

【後援】一般社団法人日本ケアラー連盟



# 関本 剛先生が残されたもの、 伝えなかったこと

関本 剛先生は、2018年4月より「関本クリニック」の院長として1000人を超えるがん患者への緩和ケアを施されてきましたが、2019年秋、ご自身が末期のがんと診断を受け、その後も治療を続けながら、医療の第一線にて勤務を続けられました。

2020年9月に著書「がんになった緩和ケア医が語る「残り2年」の生き方、考え方」を出版され、同年11月には、本会においてご講演をいただき、緩和ケアのあり方や関本先生から見える風景について、貴重な学びをいただきました。

関本先生はその後、各地で講演活動等を行いながら、最後まで緩和ケア医として使命を果たされる一方、ご家族との大切な時間を過ごしてこられました。

そして、2022年4月、そのご使命を終え、ご自宅にて穏やかにご昇天されました。

「関本剛先生が残されたもの、伝えなかったこと」を、関本先生の母親であり、緩和ケア医である関本 雅子先生からお話いただきます。



日 時	2022年11月24日(木) 19:00~20:30(受付 18:30~)
講 師	関本 雅子先生(関本クリニック 院長・理事長)
会 場	兵庫県福祉センター 1F多目的ホール 神戸市中央区坂口通2-1-1 (078)265-1330 (最寄り駅:JR「灘」駅・阪急「王子公園」駅から徒歩10分、阪神「岩屋」駅から徒歩15分)
定 員 (先着順)	会場 100名 / オンライン 200名 ※新型コロナの感染拡大の影響により、オンラインのみの開催となる場合があります。
対 象	福祉・医療職、その他関心のある方であればどなたでも
参 加 費	都道府県社会福祉士会会員/1,500円、一般/2,500円

11月11日(金)までに下記 URL か QR コードからお申込みください。  
<https://forms.gle/BUMZEYg4JGKyCQR96>



## 申 込 み

※受付後、メールにて参加費のお振込み依頼メールを送りますので、ご確認ください。

※上記の申し込みができない場合は、entry@hacsw.or.jp 宛に、件名を「地域移行支援委員会 学習会の申し込み」とし、メール本文に、①メールアドレス②氏名③ふりがな④電話番号⑤社会福祉士会会員 or 一般⑥会員番号(会員は必須)⑦参加方法(会場 or オンライン)⑧職場・所属⑨住所(都道府県名のみ)を入力の上、お申込みください。

## 問 合 せ

一般社団法人兵庫県社会福祉士会・事務局 TEL078-265-1330

?

?

?

?

?

実践研究って何なん？

日々の業務で気づいたこと、  
誰かに聞いてほしいけど  
どうしたら良いん？ぶっちゃけ、研究って  
せなあかんの？

研究ってみんなどんなことしてるん？

その疑問を解決するヒントは↓こちら↓

## 2022年度 実践研究発表会・実践報告会

日時：令和4年12月4日（日）13時～17時

内容：①実践研究発表・実践報告

②SDGsから発表内容を考えるワーク

③座談会

～なぜソーシャルワーカーが研究をするのか・  
研究手法について～

場所：兵庫県福祉センター（予定）

参加費：【会員】2,000円【一般】3,000円

※会場等変更の場合は、ホームページ等にてお知らせします。

申込方法：【申込方法】締切日までに下記 URL か QR コードからお申込みください。


<https://forms.gle/cK98ZnDDP3c4M6vr6>

上記の方法でお申込みできない場合は【entry@hacsw.or.jp】宛てに、①メールアドレス②氏名③ふりがな④電話番号⑤会員 or 一般⑥会員番号（会員は必須）⑦所属⑧職種・役職を明記し、件名には「実践研究発表会・実践報告会申込み」と必ず記載して送信してください。

申込〆切：令和4年11月13日（日）

主 催：兵庫県社会福祉士会調査研究委員会

# 忘年会

By Hyogo Association of Certified Social Workers

オンライン開催

# 2022



今年も一年、お疲れさまでした！  
みんなで楽しいひと時を過ごしましょう

【会場】ご自宅や職場等（ZOOMによるオンライン）

【日時】2022年12月17日（土）18：00～20：00

【参加費】無料（当日参加もOK）



☆今年も新型コロナ感染拡大防止のため、ZOOMによるオンライン忘年会です。楽しい企画やプレゼントがあります。

☆特別企画として、基礎研修OB会の皆様には、OB会コーナー（1～8期生）を開催します。  
基礎研修OB会の皆さん、ぜひご参加ください。

☆各自お好きな飲み物や食べ物等をご用意してご参加ください。

☆パソコン、iPad、スマートフォン等にて気軽にご参加いただけます。（出入り自由です）



## 忘年会のお申し込みは下記URL

## またはQRコードから

## 12月9日（金）までに

## お願いいたします。

<https://forms.gle/jnfe7Q6Wh3xqm4M8>



【お問い合わせ】兵庫県社会福祉士会・事務局 078-265-1330

【参加方法・ZOOM】ID：819 7907 7136 パスコード：624601

※事前のお申し込みがなくても当日参加できます。

## 【認定社会福祉士認証・認定機構による認証研修】

## 2022年度 災害支援活動者養成研修（速報）

災害対応・支援（分野共通）（分野専門/地域社会・多文化分野/ソーシャルワーク機能別科目群）

I 単位 認証 No. 20170015 高齢分野、障害分野、児童・家庭分野、医療分野での読み替え可能

No	コース名	開催日	受講料	定員
1	単位取得コース ※事前・事後課題あり	12月24日（土）～25日（日） 各日とも9:30～17:00	社会福祉士会会員：12,000円 非会員：24,000円	70名
2	一般教養コース ※事前・事後課題なし		社会福祉士会会員：8,000円 非会員：16,000円	30名

【会場】大阪府社会福祉会館 501号

【対象】ソーシャルワーカー、災害支援に興味のある方

【申込締切】2022年11月24日（木）※先着順 受講の可否は順次文書について通知します。

【申込方法】兵庫県社会福祉士会ホームページからお申し込みください。

【修了要件】単位取得コース受講希望者が対象

1. 事前・事後課題を提出し合格すること。

2. 2日間の研修を受講すること（15分以上の遅刻・早退・途中退室は未修了となります）

【事前課題】「当研修を受講するに当たり、受講者の在住又は職場のある市町村の防災計画を読み、避難所や福祉避難所の場所を確認し、避難所の運営方法を調べる」（800字～1,000字）

2022年12月8日（木）必着で兵庫県社会福祉士会事務局まで郵送で提出してください。

【事後課題】1. 「社会福祉士会が派遣する災害支援活動時における社会福祉士の役割について」

2. 「災害ソーシャルワークにおけるニーズ把握やアセスメントの実際について」

（各800字～1,000字）

【注意事項】受講決定通知書にて具体的なお支払い方法をご案内します。一度お振込みいただいた受講料につきましては、新型コロナウイルスの感染状況により、やむを得ず開催不可となった場合を除き、返金いたしませんのでご了承ください。

【研修内容（予定）】

1日目：12月24日（土）

時間	内容
9:30～	オリエンテーション
9:35～11:05	①【講義】ソーシャルワーカーによる災害支援（支援者と受援者の想いにふれて）
11:15～12:45	②【講義】要援護者支援のための災害救助法と支援制度
13:45～15:15	③【講義】日本社会福祉士会の災害支援活動と県士会の取り組み
15:25～16:55	④【講義】専門職団体の支援活動（DMAT＜医療専門職の災害派遣チーム＞の活動紹介）
16:55～17:00	まとめ・事務連絡

2日目：12月25日（日）

時間	内容
9:30～	オリエンテーション
9:35～11:05	⑤【講義・演習】避難所の実際 （避難所の暮らしと福祉活動について、福祉避難所の実態について）
11:15～12:45	⑥【講義・演習】災害対応マニュアルの理解
13:45～15:15	⑦【講義・演習】災害支援の実際Ⅰ （災害ソーシャルワークにおける積極的ニーズ把握・アセスメントについて）
15:25～16:55	⑧【講義・演習】災害支援の実際Ⅱ （アセスメントシート・企画シートを使った住民主体のネットワークづくりについて）
16:55～17:00	まとめ・事務連絡


# 災害時支援と 地域共生社会における ソーシャルワーカーの 役割と期待



**日 時** 2023年 2 月 4 日(土) 10:00~16:45

**会場・定員** 兵庫県福祉センター会議室(予定) 50 名 ※いずれも先着順  
Zoom ミーティングによるオンライン 200 名


**参加費** 2,000 円/社会福祉士会会員 3,000 円/一般

<p><b>第 1 部</b> (10:15~12:00)</p>	<p>■特別講演 「災害ケースマネジメント～災害復興法学とソーシャルワークとの連携」 津久井 進 氏(兵庫県弁護士会 前会長・日本弁護士連合会災害復興支援委員会委員)</p>	
<p><b>第 2 部</b> (13:00~14:30)</p>	<p>■基調講演 「地域共生社会とソーシャルワーク・困難事例を解きほぐす ～多職種・多機関の連携に向けた全方位型アセスメントとは～」 土屋 幸己 氏(コミュニティネットハピネス代表理事)</p>	
<p><b>第 3 部</b> (14:40~16:45)</p>	<p>■シンポジウム 「地域共生社会におけるソーシャルワーカーの役割と期待」 ◆シンポジスト ・新谷 久美子氏 (静岡県富士宮市福祉総合相談課長) ・針山 大輔 氏 (芦屋市社会福祉協議会) ・荒家 央毅 氏 (明石市社会福祉協議会) ◆助言者 ・土屋 幸己 氏 (静岡県社会福祉士会・コミュニティネットハピネス代表理事) ・山内 賢治 氏 (兵庫県社会福祉士会・地域包括支援センター支援委員会委員長)</p>	

**【申し込み方法】**  
1 月 20 日(金)までに、下記 URL または QR コードから必要事項を入力し、送信してください。  
<https://forms.gle/97Pm9pRgvzsus1DJA>

**【お問い合わせ】**  
兵庫県社会福祉士会事務局 078-265-1330

後日視聴(オンデマンド配信対応)





# e-ラーニング講座を活用ください

e-ラーニングとは、パソコンやスマートフォン、タブレットなどを利用することによって場所や時間を問わず、自分のペースで学習できるシステムのことです。

日本社会福祉士会では、制度等の動向や生涯研修についての講座を開講しています。

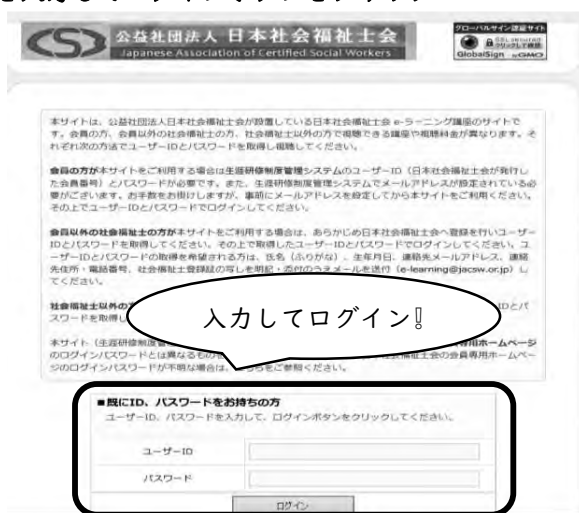
※兵庫県社会福祉士会の正会員は無料で受講することができます。

① 日本社会福祉士会 HP のトップページから、「e-ラーニング講座」のボタンをクリック

② 「e-ラーニング講座」のページが開くので「視聴を希望する方はこちら」をクリック



③ ログイン画面が開くので、ID とパスワードを入力してログインボタンをクリック



## -受講できる講座の紹介(抜粋)-

レジデンシャル・ ソーシャルワーク研修① 一時帰宅支援とソーシャルワーク	レジデンシャル・ ソーシャルワーク研修② 高齢者施設からの一時帰宅支援のスキル
LGBTQ ソーシャルワーク序説	滞日外国人支援 基礎力習得のための ガイドブック活用実践
実践研究入門	再犯の防止等の推進に 関する法律について
成年後見制度利用促進法 の意義と課題	ソーシャルワーク専門職 のグローバル定義

他にも様々な講義を受講することができます。

※e-ラーニング講座を利用する場合は、生涯研修制度管理システムの「ユーザーID（日本社会福祉士会会員番号）」と「パスワード」が必要です。ご不明な方は、本会事務局までお問い合わせください。

パソコンだけでなく  
スマートフォンやタブレットでも  
受講できるのね！

日本社会福祉士会 e-ラーニング講座  
<https://jacsw.informationstar.jp>



## 委員会活動を見学してみませんか?



委員会活動の様子を見てみませんか?新たな仲間と出会えるチャンスです♪参加資格は、「興味・関心がある」でOK!どなたでも参加いただけます。

下記、見学申込書に必要事項を記入の上、兵庫県社会福祉士会事務局までメールまたはFAXでお申し込みください。

兵庫県社会福祉士会事務局 行き  
FAX 078-265-1340 E-mail entry@hacsw.or.jp

## 委員会見学申込書

研修委員会	子ども家庭支援委員会
調査研究委員会	実習教育支援委員会
国家試験対策委員会	独立型社会福祉士支援委員会
広報委員会	障がい福祉委員会
相談委員会	更生支援委員会
ソーシャルワーク研究委員会	地域移行支援委員会
高齢者・障害者虐待対応委員会 <small>※委員会参加には要件があります</small>	生活困窮者支援委員会
	災害支援委員会
地域包括支援センター支援委員会	

見学を希望する委員会に○を付けてください(複数選択OK!)

ふりがな		会員番号
氏名		
電話番号 <input type="checkbox"/> 自宅・携帯 <input type="checkbox"/> 勤務先	※ 日中連絡のつく番号	
メールアドレス <input type="checkbox"/> 自宅・携帯 <input type="checkbox"/> 勤務先		
勤務先(任意)		
備考		

後日、委員会担当者から直接ご案内いたします。

お問い合わせ先  
兵庫県社会福祉士会事務局 TEL 078-265-1330

都道府県社会福祉士会 入退会・変更届

年 月 日

会員番号		氏名	
------	--	----	--

1. 所属社会福祉士会の変更 退会→入会 (所属の変更のみ)

※規約により所属社会福祉士会は住所または勤務先所在の都道府県となります。

私は	旧 所属	社会福祉士会を退会し	新 所属	社会福祉士会に入会します

2. 氏名の変更

ふりがな		ふりがな	
旧氏名		新氏名	

3. 住所等の変更 ( 年 月 日変更)

旧住所	〒		
ふりがな			
新住所	〒 (アパート・マンション名もご記入ください)		
電話番号	FAX番号		
	E-mail		

4. 勤務先等の変更

勤務先名称			
勤務先種別		職 種	
所在地	〒		
電話番号	FAX番号		
	E-mail		

5. 年会費引落とし口座の変更

<input type="checkbox"/>	変更しません	<input type="checkbox"/>	銀行口座に変更します	<input type="checkbox"/>	郵便口座に変更します
--------------------------	--------	--------------------------	------------	--------------------------	------------

※変更される方には所定の用紙をお送りします。

# 事務局情報

## 会員数

正会員1,790名（2022年8月末現在）  
みなさんの周りにいる社会福祉士の方に入会をお誘いください。

転居、または転職や異動などにより職場が変わった場合は、住所変更届を必ず事務局へ提出して下さい。

※このとり通信は、メール便にて発送しています。郵便局への転居届では転送されませんので、本会事務局までご連絡ください。

## 法人賛助会員

- 社会福祉法人くすのき会 播磨園
- 社会福祉法人弘陵福祉会 六甲の館
- 株式会社RL
- 社会福祉法人丹南厚生会

## 理事会報告

### 第3回理事会

開催日時：2022年6月25日

開催会場：兵庫県福祉センター1F

出席理事：岡本、伊東、榎本、薄木、近藤、段、寺田、西垣、福井、米田、中原、岩西、岸、下中、内藤、古家

出席監事：塩尻、土谷

<審議事項>

- 規程の改正について
- 理事の担当について
- 精神医療人権問題ひょうご7団体会議について

### 第4回理事会

開催日時：2022年7月8日

開催会場：Zoom ミーティング

出席理事：岡本、伊東、榎本、薄木、段、寺田、西垣、福井、中原、岩西、岸、下中、内藤、古家

出席監事：塩尻

<審議事項>

- 理事の担当について
- 神出病院の虐待事案についての要請書(案)について

### 第5回理事会

開催日時：2022年8月31日

開催会場：Zoom ミーティング

<審議事項>

- 組織体制、役割分担について
- ホームページについて（補正予算・次年度

予算にむけて）

- 基金の規則化（第一四半期（4-6月）決算後の補正予算にて）
- 調査研究機関としての本会の役割の強化（次年度予算審議にむけて）
- 2023年度基礎研修開催方法について
- 施設見学会の告知について
- 2022年度倫理綱領・行動規範講師養成研修について
- ヤングケアラーの居場所(阪神ブロック)について
- 第27回予算総会（3月25日）・第28回決算総会・30周年記念大会（6月24日）について
- 新型コロナウイルス感染症の感染による職員の休職の扱いについて

協議事項等がありましたら、各理事又は事務局へご連絡ください。

## 事務局連絡先

### 【事務局】

一般社団法人 兵庫県社会福祉士会  
〒651-0062

神戸市中央区坂口通2-1-1

兵庫県福祉センター5階

電話：078-265-1330

FAX：078-265-1340

### 【事務局員】

事務局長	西野	佳名子
事務局次長	中山	貴之
事務局員	中村	智穂美
事務局員	北野	和香子
事務局員	胡中	智礼
事務局員	笹岡	久美
事務局員	萩原	美千紘
事務局員	小坂	知博
事務局員	加戸	陽子
事務局員	中村	美香
事務局員	畠山	京子
事務局員	一番合戦	桂子
事務局員	真利	敦子

### 【事務局メールアドレス】

syadanhyogo@hacsw.or.jp

### 【ぱあとなあ兵庫事務局】

電話：078-222-8107

partner-jimu@hacsw.or.jp

### 【研修申込専用メールアドレス】

entry@hacsw.or.jp



一般社団法人 兵庫県社会福祉士会

このとり通信 No.112

2022 Autumn

発行：一般社団法人 兵庫県社会福祉士会 広報委員会

住所：〒651-0062 神戸市中央区坂口通2-1-1 兵庫県福祉センター5階

電話：078(265)1330

Fax：078(265)1340

印刷：小野高速印刷株式会社